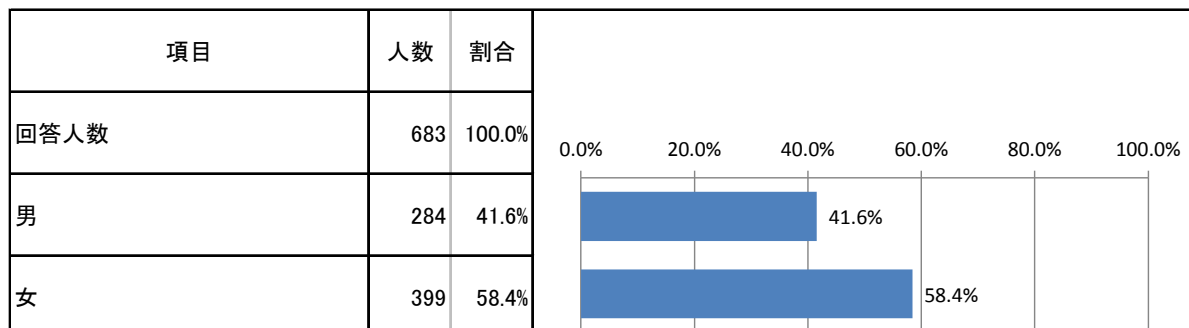


第4章 一般

問1 あなたの性別などについてお聞きします。

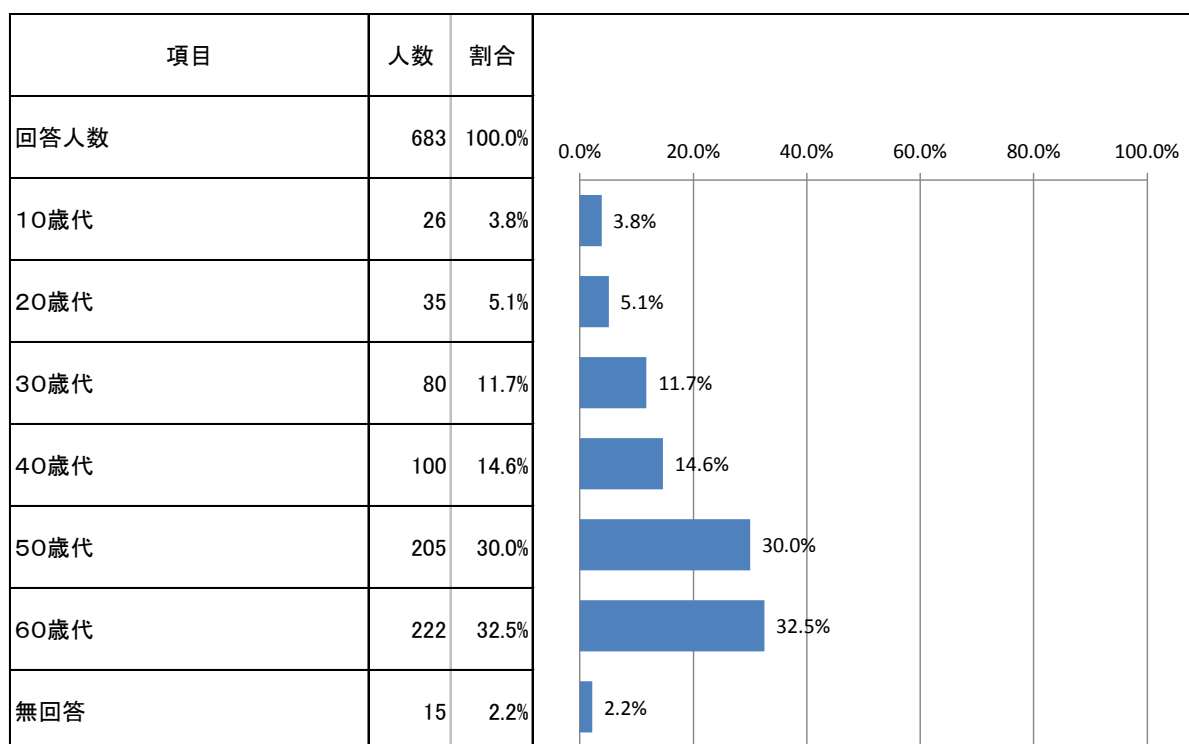
(1)① 対象（封書の宛名）の方の性別

性別については、「男」が41.6%、「女」が58.4%となっている。



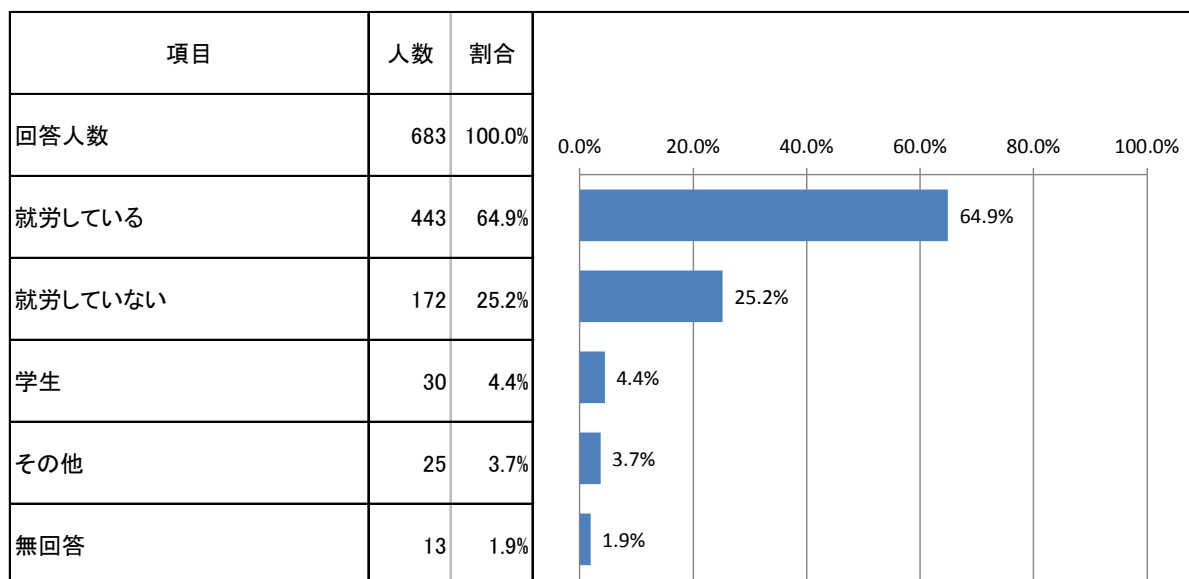
(1)② 対象（封書の宛名）の方の年齢

年齢については、「60歳代」が32.5%と最も多く、次いで「50歳代」が30.0%、「40歳代」が14.6%となっている。



(2) 対象（封書の宛名）の方の就労状況

就労については、「就労している」が64.9%と最も多く、次いで「就労していない」が25.2%、「学生」が4.4%となっている。

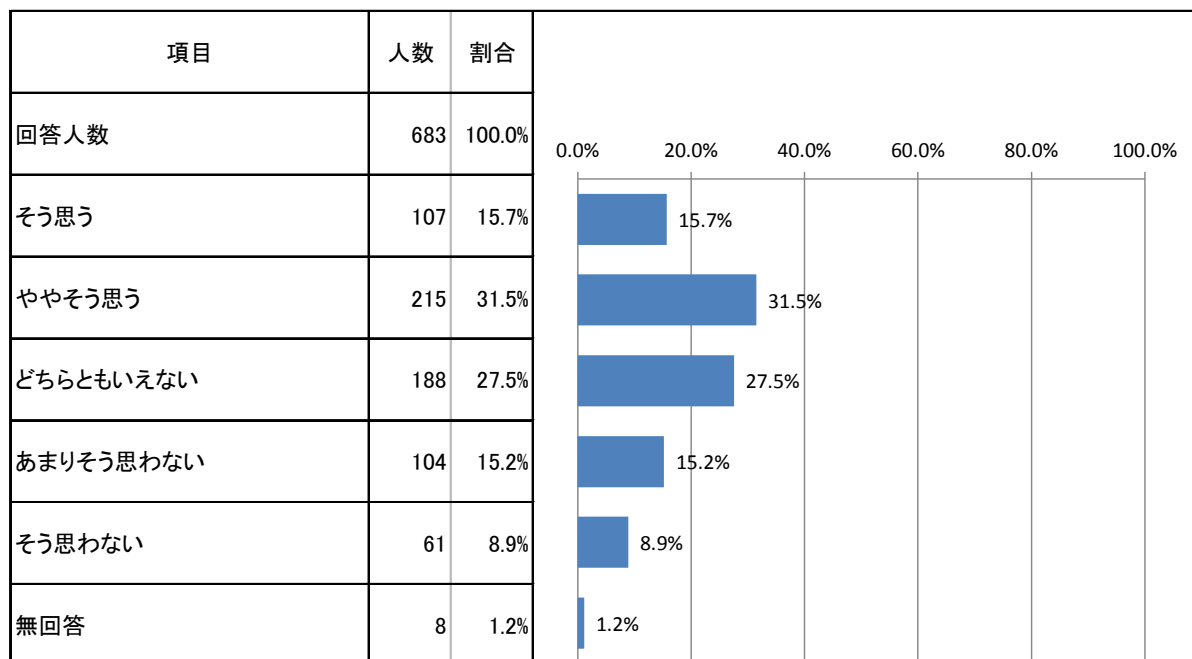


問2 あなたのお住まいについてお聞きします。(小学校区)

区分	人数	割合	区分	人数	割合
本城小学校	1	0.1%	花野小学校	5	0.7%
牟礼岡小学校	4	0.6%	西伊敷小学校	3	0.4%
南方小学校	2	0.3%	伊敷台小学校	10	1.5%
花尾小学校	1	0.1%	玉江小学校	6	0.9%
郡山小学校	2	0.3%	小山田小学校	1	0.1%
川上小学校	4	0.6%	犬迫小学校	1	0.1%
吉野小学校	161	23.6%	東桜島小学校	24	3.5%
吉野東小学校	1	0.1%	改新小学校	9	1.3%
大明丘小学校	2	0.3%	高免小学校	3	0.4%
坂元小学校	6	0.9%	黒神小学校	9	1.3%
坂元台小学校	8	1.2%	桜洲小学校	77	11.3%
清水小学校	5	0.7%	桜峰小学校	58	8.5%
大龍小学校	2	0.3%	春山小学校	1	0.1%
名山小学校	2	0.3%	谷山小学校	13	1.9%
山下小学校	5	0.7%	西谷山小学校	8	1.2%
松原小学校	1	0.1%	東谷山小学校	13	1.9%
城南小学校	4	0.6%	清和小学校	4	0.6%
草牟田小学校	4	0.6%	和田小学校	7	1.0%
原良小学校	5	0.7%	錦江台小学校	7	1.0%
明和小学校	7	1.0%	福平小学校	7	1.0%
武岡小学校	7	1.0%	平川小学校	1	0.1%
西田小学校	2	0.3%	中山小学校	6	0.9%
武小学校	7	1.0%	桜丘西小学校	3	0.4%
田上小学校	5	0.7%	桜丘東小学校	2	0.3%
西陵小学校	9	1.3%	星峯西小学校	1	0.1%
広木小学校	9	1.3%	星峯東小学校	4	0.6%
中洲小学校	3	0.4%	宮川小学校	6	0.9%
荒田小学校	12	1.8%	皇徳寺小学校	5	0.7%
八幡小学校	12	1.8%	中名小学校	1	0.1%
中郡小学校	10	1.5%	喜入小学校	4	0.6%
紫原小学校	6	0.9%	前之浜小学校	1	0.1%
西紫原小学校	8	1.2%	分からない	33	4.8%
鴨池小学校	7	1.0%	無回答	16	2.3%
宇宿小学校	4	0.6%	合計	683	100.0%
向陽小学校	2	0.3%			
伊敷小	4	0.6%			

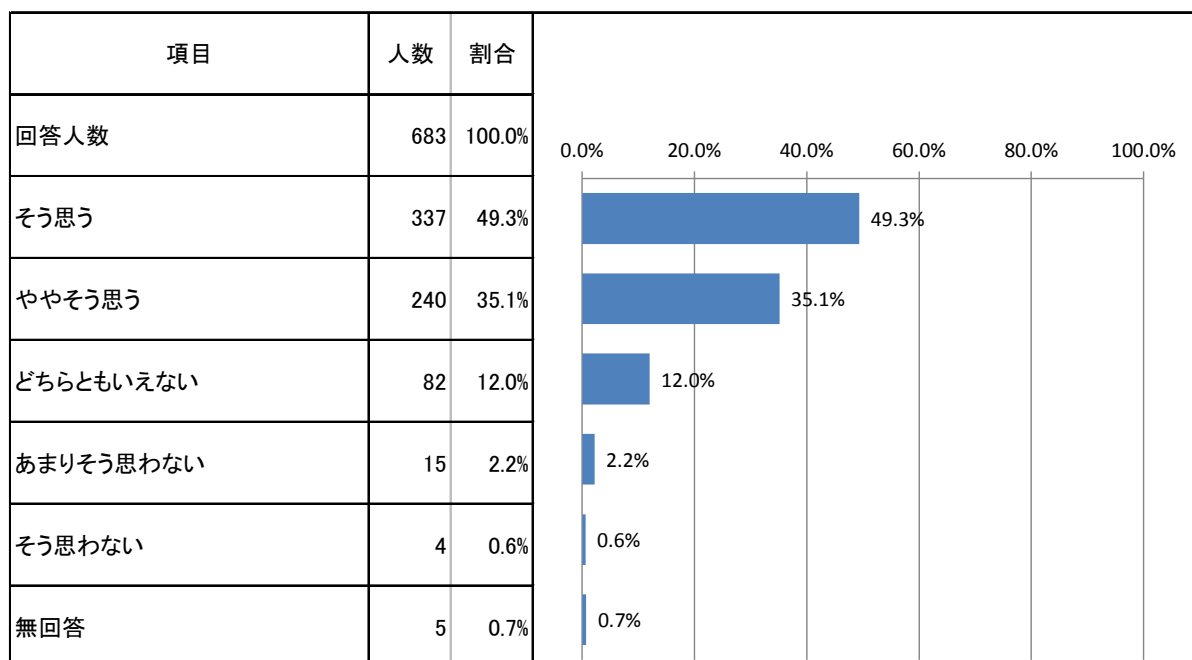
問3 あなたは、地域の住人が一緒になって、地域の課題に取り組んでいると思いますか。(ひとつに○)

地域住民が一緒になって、地域課題に取り組んでいると思うことについては、「ややそう思う」が31.5%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が27.5%、「そう思う」が15.7%となっている。



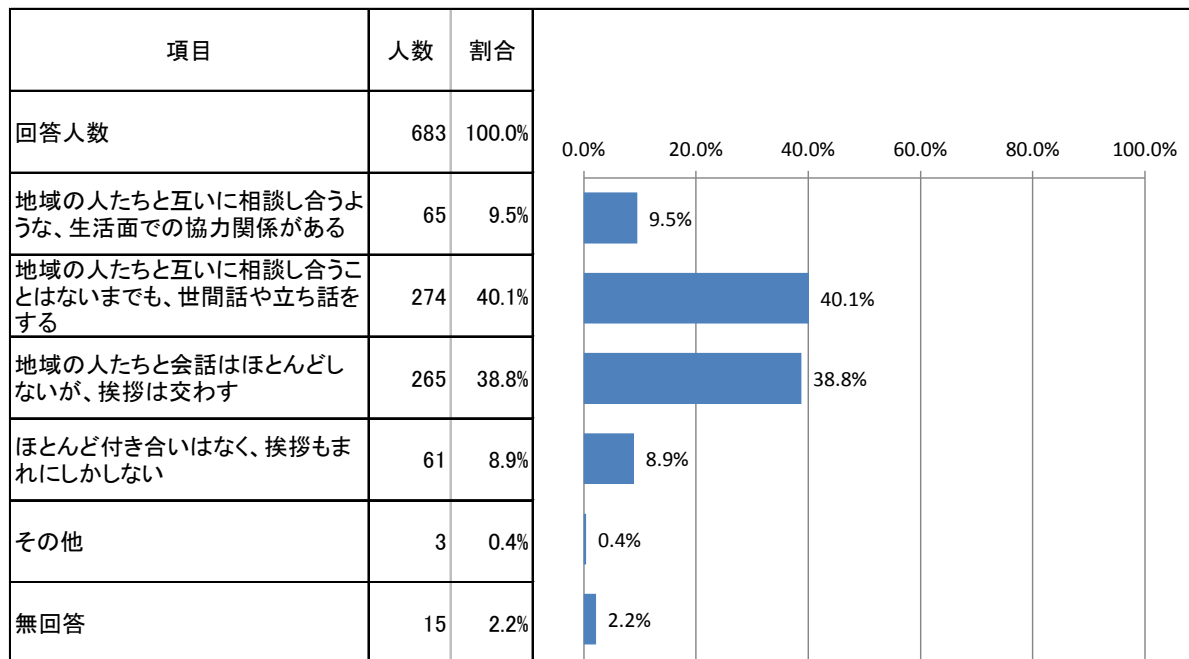
問4 あなたは、地域の住人が一緒になって、地域の課題に取り組むことは重要だと思いますか。(ひとつに○)

地域住民が一緒になって、地域課題に取り組むことは重要だと思うことについては、「そう思う」が49.3%と最も多く、次いで「ややそう思う」が35.1%、「どちらともいえない」が12.0%となっている。



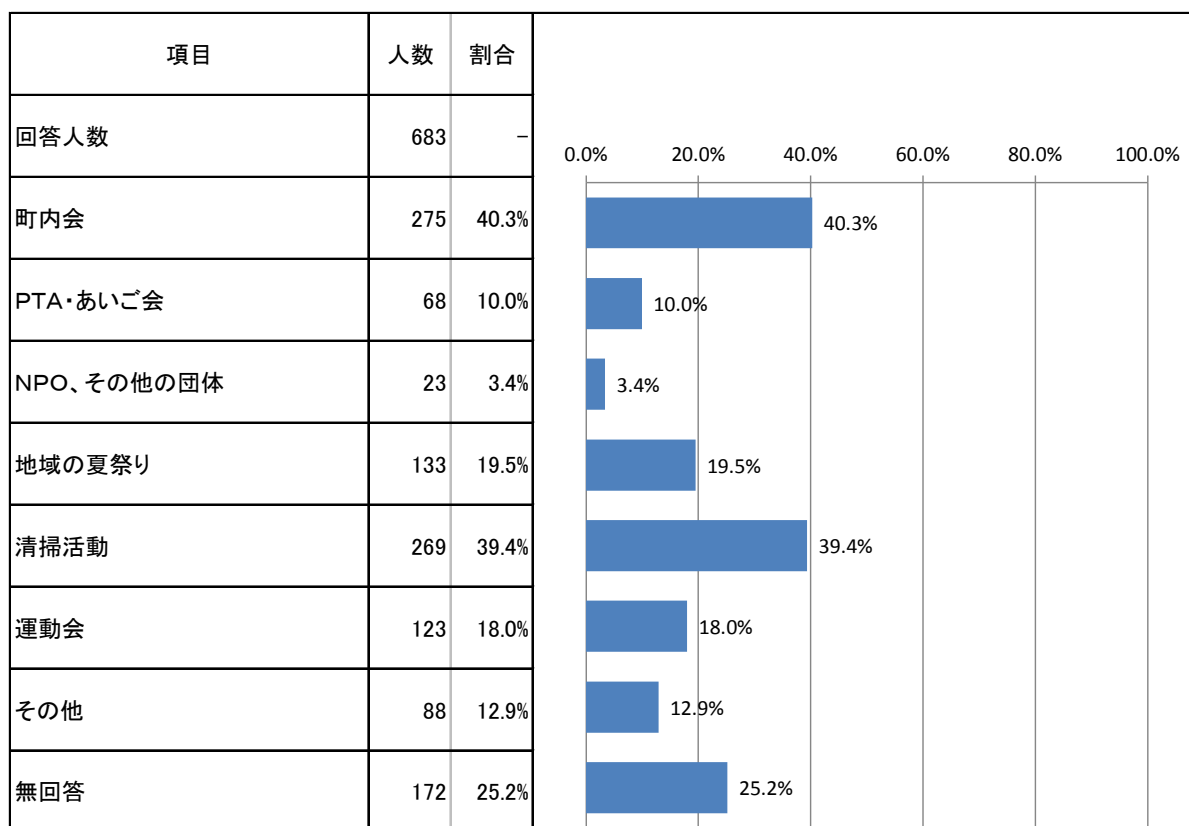
問5 あなたは、地域の人たちとコミュニケーションをとっていますか。
(ひとつに○)

地域の人たちとのコミュニケーションについては、「地域の人たちと互いに相談し合うことはないまでも、世間話や立ち話をする」が40.1%と最も多く、次いで「地域の人たちと会話はほとんどしないが、挨拶は交わす」が38.8%、「地域の人たちと互いに相談し合うような、生活面での協力関係がある」が9.5%となっている。



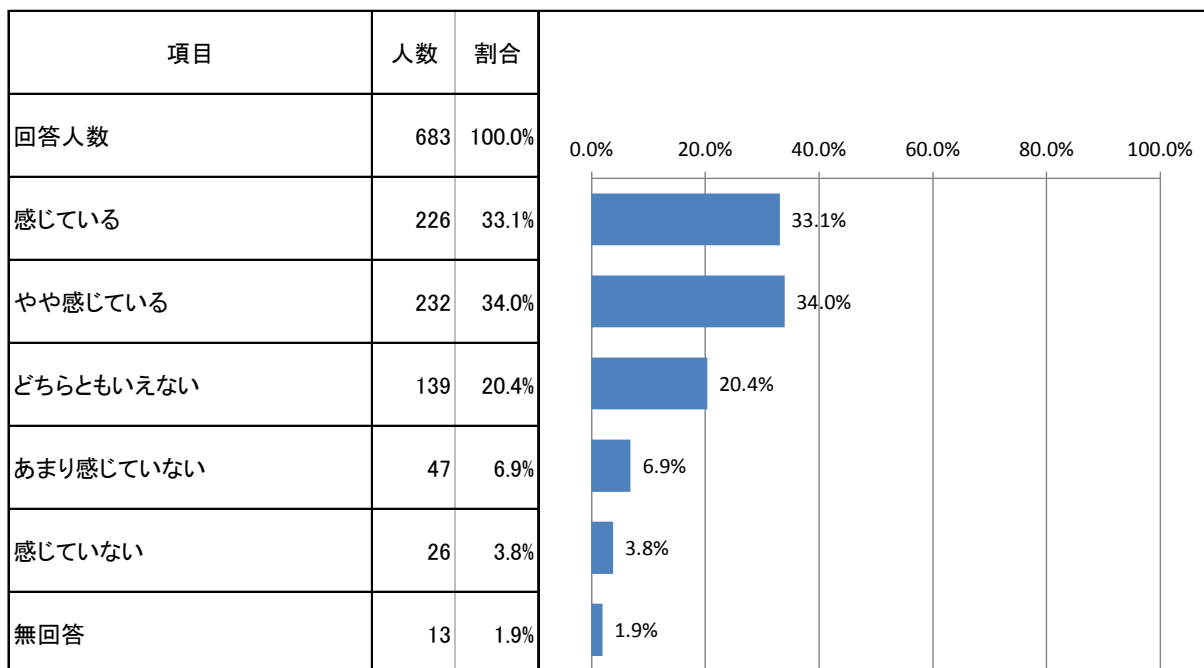
問6 あなたは、地域活動に参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

地域活動への参加については、「町内会」が40.3%と最も多く、次いで「清掃活動」が39.4%、「地域の夏祭り」が19.5%となっている。



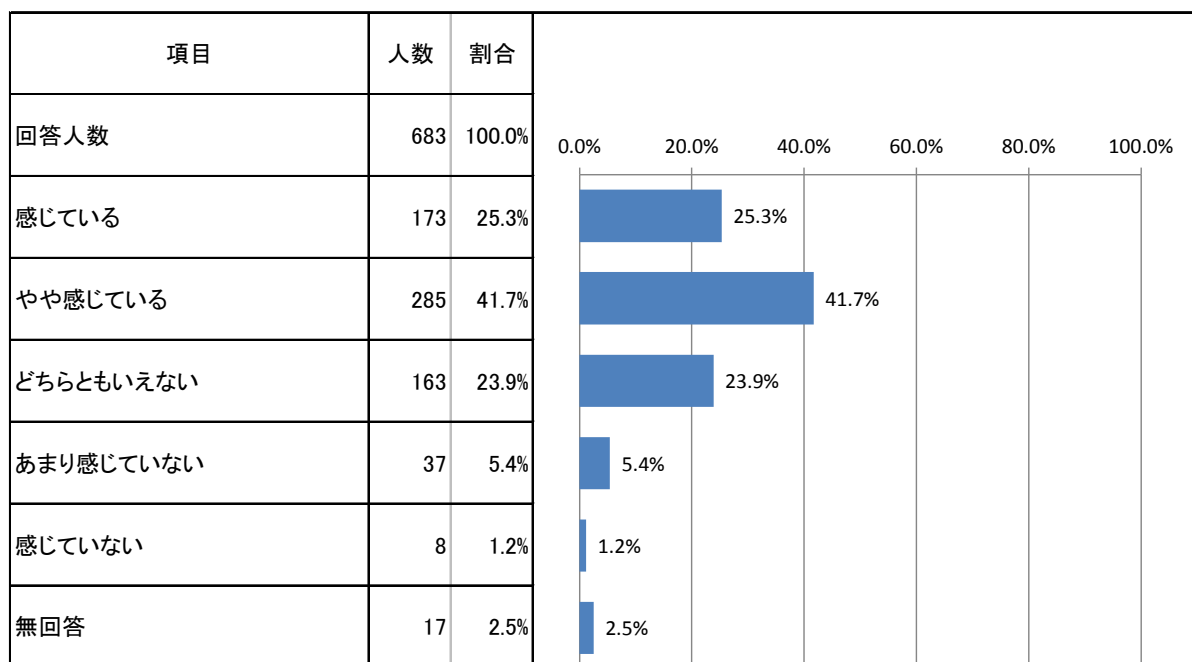
問7 あなたは、地域の暮らしに愛着を感じていますか。(ひとつに○)

地域の暮らしへの愛着度については、「やや感じている」が34.0%と最も多く、次いで「感じている」が33.1%、「どちらともいえない」が20.4%となっている。



問8 あなたは、鹿児島市の暮らしに安心安全を感じていますか。(ひとつに○)

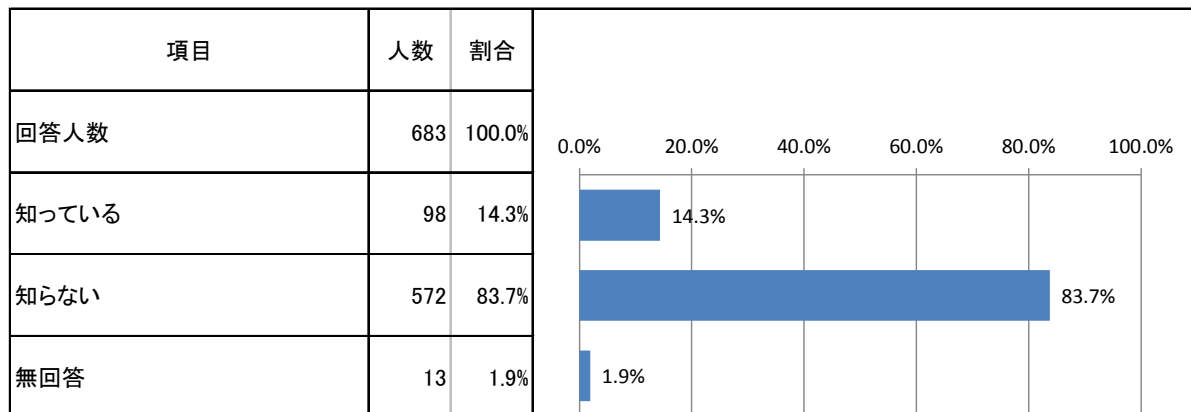
鹿児島市の暮らしに安心安全を感じているかについては、「やや感じている」が41.7%と最も多く、次いで「感じている」が25.3%、「どちらともいえない」が23.9%となっている。



【一般】

問9 あなたは、平成24年中、鹿児島市内で発生した交通事故の死亡者が21人、負傷者が4,500人以上であることを知っていますか。(ひとつに○)

平成24年中、鹿児島市内の交通事故による人身事故発生状況の認知度については、「知っている」が14.3%、「知らない」が83.7%となっている。



【属性別特徴】

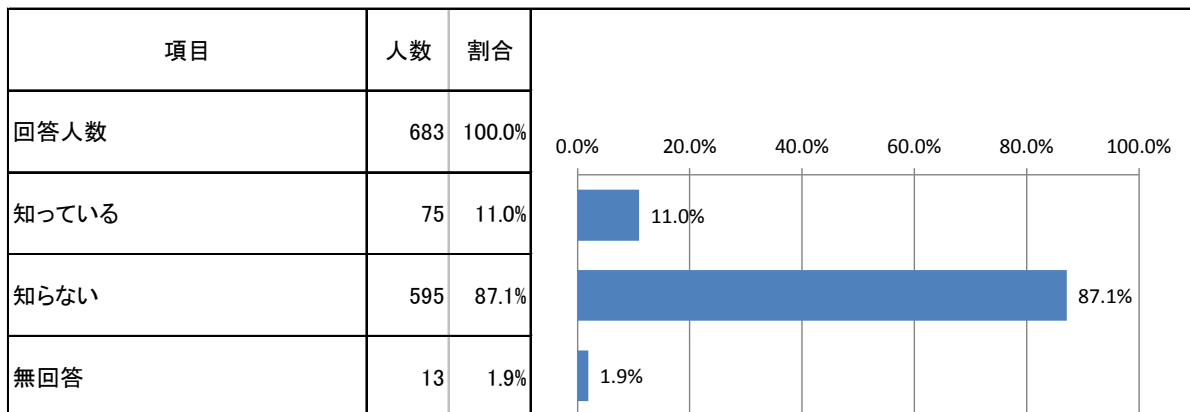
性別では、男の「知っている」が17.3%で、女の12.3%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、40歳～64歳の「知っている」が15.7%で、40歳未満の8.5%に比べてやや高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
知っている	98	14.3%	49	17.3%	49	12.3%	12	8.5%	83	15.7%	3	20.0%
知らない	572	83.7%	226	79.6%	346	86.7%	127	90.1%	433	82.2%	12	80.0%
無回答	13	1.9%	9	3.2%	4	1.0%	2	1.4%	11	2.1%	0	0.0%

問10 あなたは、平成24年中、鹿児島県内で発生した交通死亡事故のうち、歩行中に事故にあった方の半数以上が自宅から500m以内の距離で起こっていることを知っていますか。(ひとつに○)

平成24年中、鹿児島県内で発生した歩行中の交通死亡事故の半数以上が自宅から500m以内の距離で起こっていることの認知度については、「知っている」が11.0%、「知らない」が87.1%となっている。



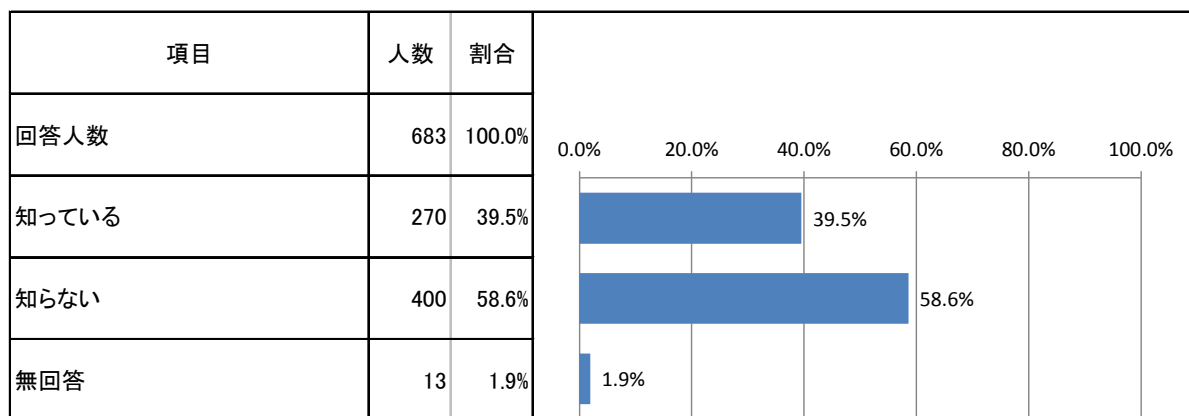
【属性別特徴】

性別・年齢別では、大きな差異はみられない。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
知っている	75	11.0%	32	11.3%	43	10.8%	13	9.2%	58	11.0%	4	26.7%
知らない	595	87.1%	243	85.6%	352	88.2%	126	89.4%	458	86.9%	11	73.3%
無回答	13	1.9%	9	3.2%	4	1.0%	2	1.4%	11	2.1%	0	0.0%

問 11 あなたは、平成24年中、鹿児島市内で発生した交通事故の6割以上が自動車によるものであることを知っていますか。(ひとつに○)

平成24年中、鹿児島市内で発生した交通事故の6割以上が自動車によるものであることの認知度については、「知っている」が39.5%、「知らない」が58.6%となっている。



【属性別特徴】

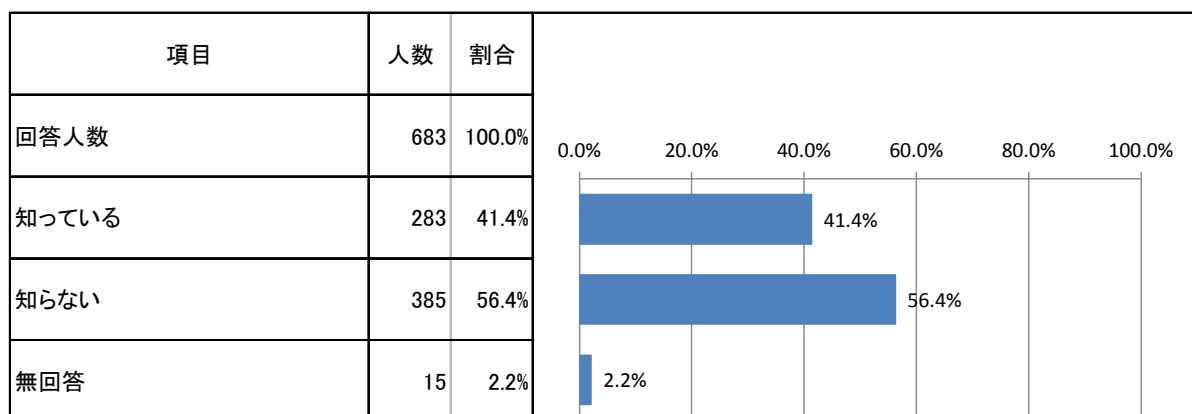
性別では、男の「知っている」が43.0%で、女の37.1%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、40歳～64歳の「知っている」が43.8%で、40歳未満の24.1%に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
知っている	270	39.5%	122	43.0%	148	37.1%	34	24.1%	231	43.8%	5	33.3%
知らない	400	58.6%	153	53.9%	247	61.9%	105	74.5%	285	54.1%	10	66.7%
無回答	13	1.9%	9	3.2%	4	1.0%	2	1.4%	11	2.1%	0	0.0%

問 12 あなたは、平成24年中、鹿児島市内で発生した交通事故のうち、自動車
事故にあった方の半数以上が運転者の前方不注意、動静不注視、安全不確認
などの安全運転義務違反であることを知っていますか。(ひとつに○)

平成24年中、鹿児島市内で発生した自動車事故の半数以上が安全運転義務違反であることの認知度については、「知っている」が41.4%、「知らない」が56.4%となっている。



【属性別特徴】

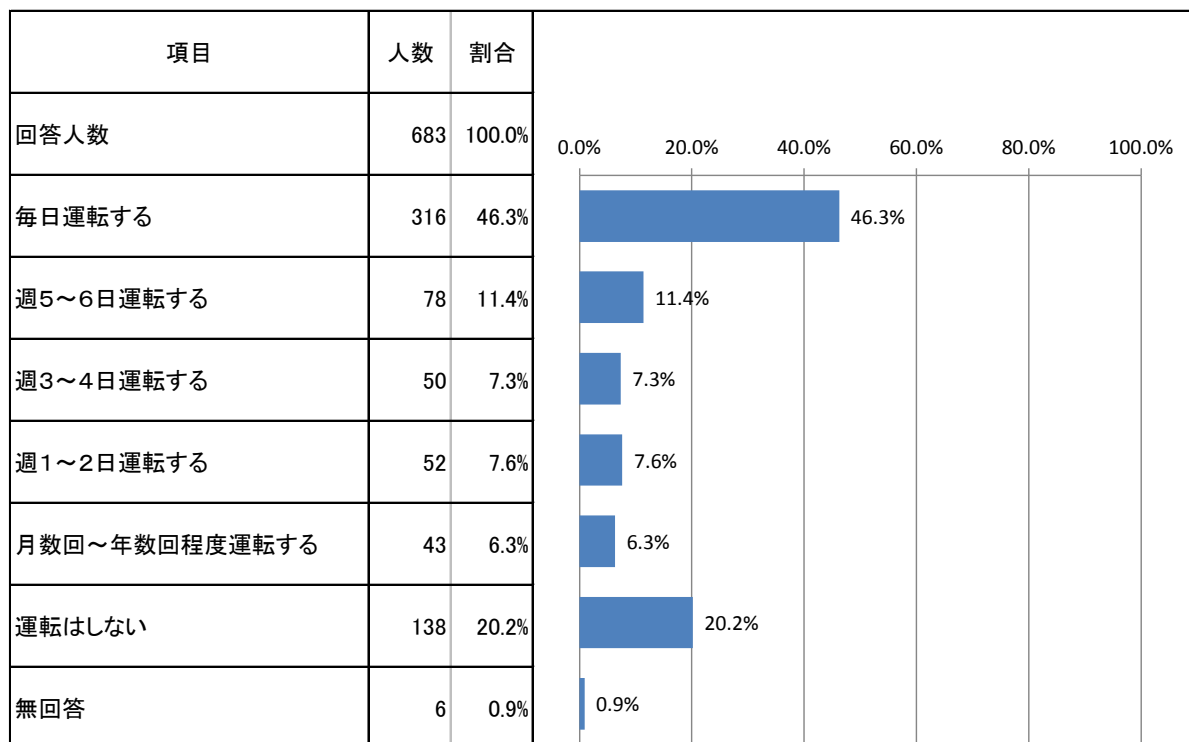
性別では、大きな差異はみられない。

年齢別では、40歳～64歳の「知っている」が44.0%で、40歳未満の31.9%に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
知っている	283	41.4%	117	41.2%	166	41.6%	45	31.9%	232	44.0%	6	40.0%
知らない	385	56.4%	156	54.9%	229	57.4%	94	66.7%	282	53.5%	9	60.0%
無回答	15	2.2%	11	3.9%	4	1.0%	2	1.4%	13	2.5%	0	0.0%

問 13 あなたは自動車を運転しますか。(近いものひとつに○)

自動車の運転頻度については、「毎日運転する」が 46.3%と最も多く、次いで「運転はしない」が 20.2%、「週 5～6 日運転する」が 11.4%となっている。



【属性別特徴】

性別では、男の「毎日運転する」が 56.3%で、女の 39.1%に比べて高くなっている。

年齢別では、40歳～64歳の「毎日運転する」が 49.9%で、40歳未満の 34.0%に比べて高くなっている。

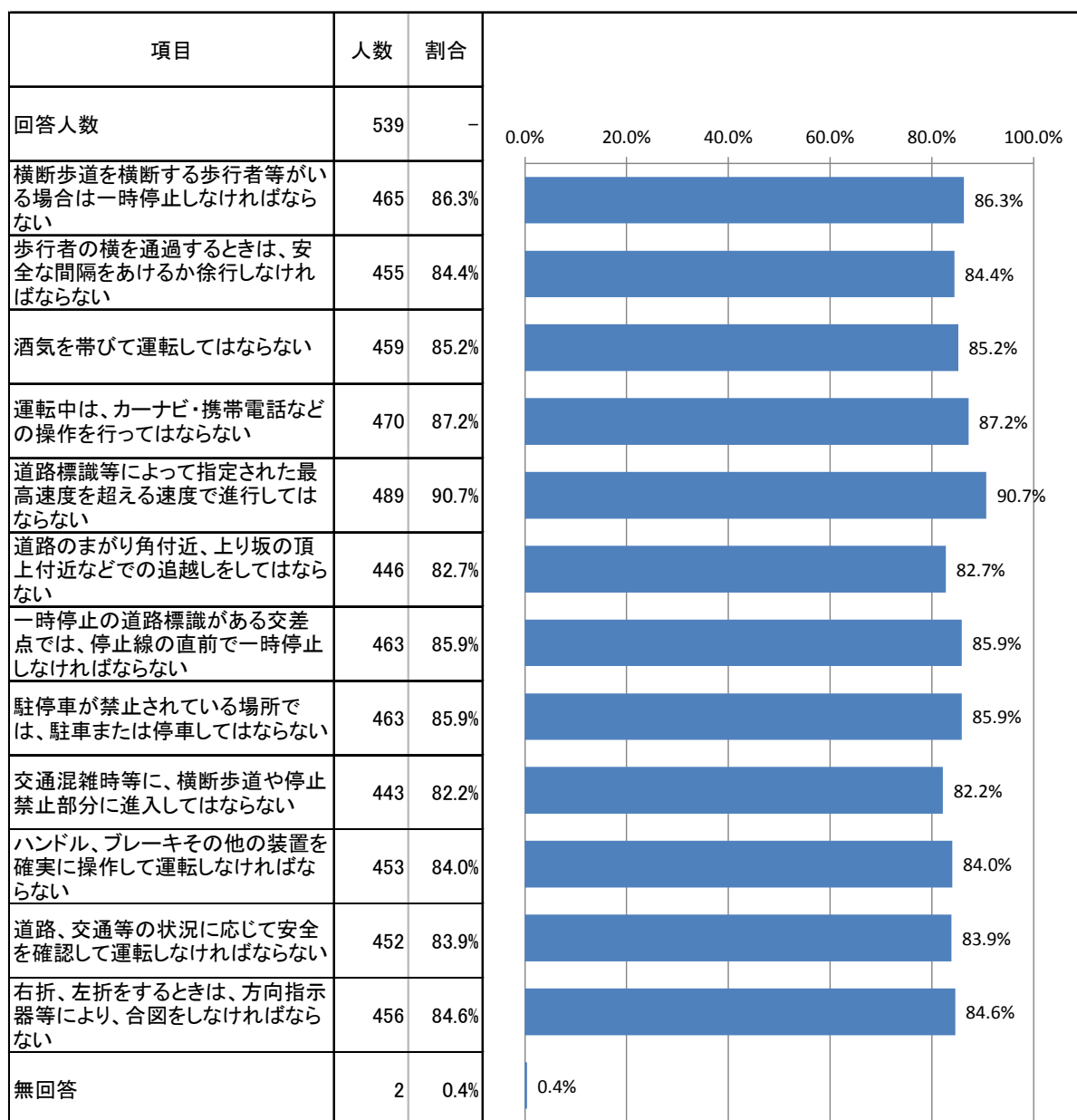
項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
毎日運転する	316	46.3%	160	56.3%	156	39.1%	48	34.0%	263	49.9%	5	33.3%
週5～6日運転する	78	11.4%	26	9.2%	52	13.0%	17	12.1%	57	10.8%	4	26.7%
週3～4日運転する	50	7.3%	18	6.3%	32	8.0%	5	3.5%	43	8.2%	2	13.3%
週1～2日運転する	52	7.6%	26	9.2%	26	6.5%	12	8.5%	39	7.4%	1	6.7%
月数回～年数回程度運転する	43	6.3%	14	4.9%	29	7.3%	18	12.8%	24	4.6%	1	6.7%
運転はしない	138	20.2%	36	12.7%	102	25.6%	39	27.7%	97	18.4%	2	13.3%
無回答	6	0.9%	4	1.4%	2	0.5%	2	1.4%	4	0.8%	0	0.0%

※問 13 で『①毎日運転する』～『⑤月数回～年数回程度運転する』のいずれかにご回答された方にお聞きします。

問 13-1 あなたは、次の交通ルールを知っていますか。また、その交通ルールを守って運転していますか。(あてはまるものすべてに○)

(知っている)

交通ルールの認識については、「道路標識等によって指定された最高速度を超える速度で進行してはならない」が 90.7%と最も多く、次いで「運転中は、カーナビ・携帯電話などの操作を行ってはいけない」が 87.2%、「横断歩道を横断する歩行者等がいる場合は一時停止しなければならない」が 86.3%となっている。



【属性別特徴】

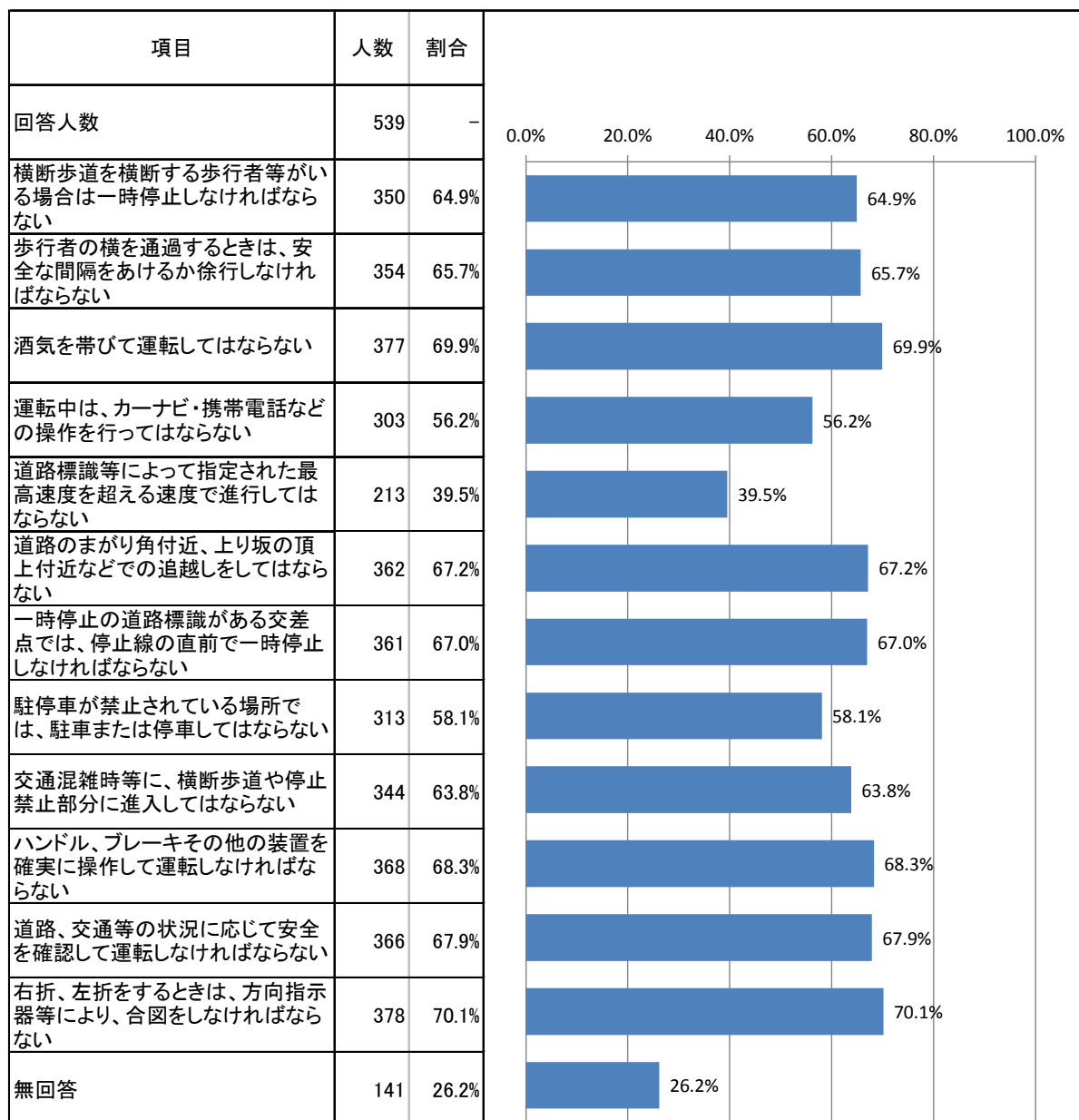
性別では、すべての項目において男の割合が女の割合より高くなっている。

年齢別では、すべての項目において、40歳未満の割合が40歳～64歳の割合より高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	539	-	244	-	295	-	100	-	426	-	13	-
横断歩道を横断する歩行者等がいる場合は一時停止しなければならない	465	86.3%	213	87.3%	252	85.4%	92	92.0%	361	84.7%	12	92.3%
歩行者の横を通過するときは、安全な間隔をあけるか徐行しなければならない	455	84.4%	209	85.7%	246	83.4%	88	88.0%	357	83.8%	10	76.9%
酒気を帯びて運転してはならない	459	85.2%	209	85.7%	250	84.7%	90	90.0%	358	84.0%	11	84.6%
運転中は、カーナビ・携帯電話などの操作を行ってはならない	470	87.2%	213	87.3%	257	87.1%	94	94.0%	365	85.7%	11	84.6%
道路標識等によって指定された最高速度を超える速度で進行してはならない	489	90.7%	225	92.2%	264	89.5%	96	96.0%	382	89.7%	11	84.6%
道路のまがり角付近、上り坂の頂上付近などでの追越しをしてはならない	446	82.7%	207	84.8%	239	81.0%	87	87.0%	348	81.7%	11	84.6%
一時停止の道路標識がある交差点では、停止線の直前で一時停止しなければならない	463	85.9%	214	87.7%	249	84.4%	90	90.0%	362	85.0%	11	84.6%
駐停車が禁止されている場所では、駐車または停車してはならない	463	85.9%	214	87.7%	249	84.4%	93	93.0%	359	84.3%	11	84.6%
交通混雑時等に、横断歩道や停止禁止部分に進入してはならない	443	82.2%	202	82.8%	241	81.7%	87	87.0%	346	81.2%	10	76.9%
ハンドル、ブレーキその他の装置を確実に操作して運転しなければならない	453	84.0%	209	85.7%	244	82.7%	89	89.0%	353	82.9%	11	84.6%
道路、交通等の状況に応じて安全を確認して運転しなければならない	452	83.9%	208	85.2%	244	82.7%	89	89.0%	352	82.6%	11	84.6%
右折、左折をするときは、方向指示器等により、合図をしなければならない	456	84.6%	211	86.5%	245	83.1%	90	90.0%	355	83.3%	11	84.6%
無回答	2	0.4%	1	0.4%	1	0.3%	0	0.0%	2	0.5%	0	0.0%

(守っている)

交通ルールの遵守については、「右折・左折をするときは、方向指示器等により、合図をしなければならない」が 70.1%と最も多く、次いで「酒気を帯びて運転してはならない」が 69.9%、「ハンドル・ブレーキその他の装置を確実に操作して運転しなければならない」が 68.3%となっている。



【属性別特徴】

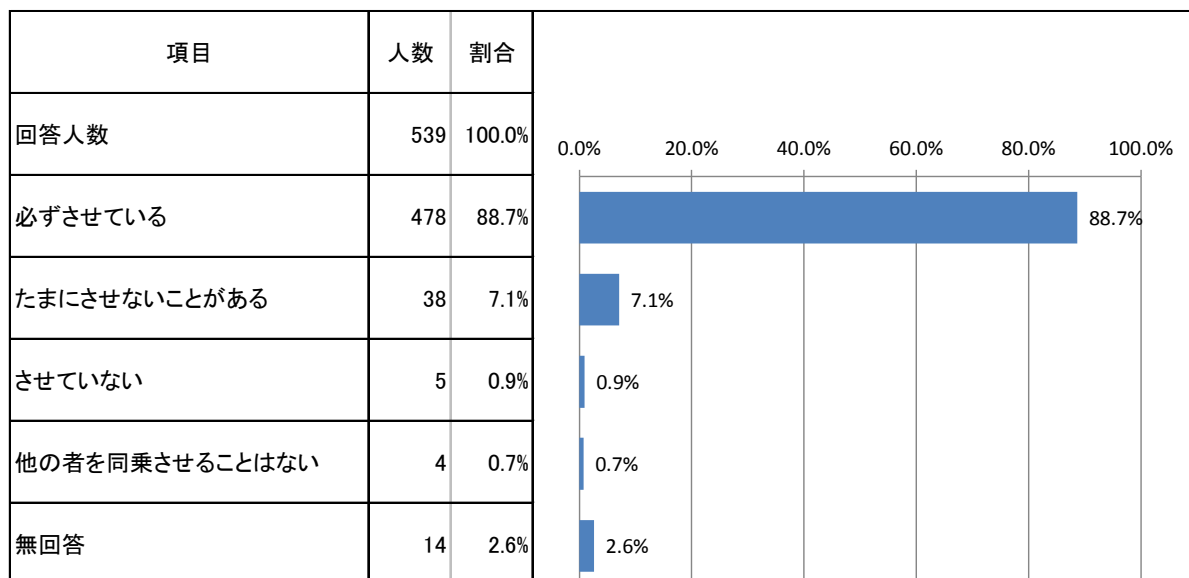
性別では、ほとんどの項目において女の割合が男の割合より高くなっている。

年齢別では、40～64歳の「運転中は、カーナビ・携帯電話などの操作を行ってはいけない」が57.7%で、40歳未満の47.0%に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	539	-	244	-	295	-	100	-	426	-	13	-
横断歩道を横断する歩行者等がいる場合は一時停止しなければならない	350	64.9%	154	63.1%	196	66.4%	65	65.0%	276	64.8%	9	69.2%
歩行者の横を通過するときは、安全な間隔をあげるか徐行しなければならない	354	65.7%	152	62.3%	202	68.5%	63	63.0%	279	65.5%	12	92.3%
酒気を帯びて運転してはならない	377	69.9%	171	70.1%	206	69.8%	71	71.0%	295	69.2%	11	84.6%
運転中は、カーナビ・携帯電話などの操作を行ってはならない	303	56.2%	129	52.9%	174	59.0%	47	47.0%	246	57.7%	10	76.9%
道路標識等によって指定された最高速度を超える速度で進行してはならない	213	39.5%	85	34.8%	128	43.4%	42	42.0%	165	38.7%	6	46.2%
道路のまがり角付近、上り坂の頂上付近などでの追越しをしてはならない	362	67.2%	157	64.3%	205	69.5%	67	67.0%	285	66.9%	10	76.9%
一時停止の道路標識がある交差点では、停止線の直前で一時停止しなければならない	361	67.0%	157	64.3%	204	69.2%	66	66.0%	284	66.7%	11	84.6%
駐停車が禁止されている場所では、駐車または停車してはならない	313	58.1%	129	52.9%	184	62.4%	57	57.0%	246	57.7%	10	76.9%
交通混雑時等に、横断歩道や停止禁止部分に進入してはならない	344	63.8%	149	61.1%	195	66.1%	67	67.0%	266	62.4%	11	84.6%
ハンドル、ブレーキその他の装置を確実に操作して運転しなければならない	368	68.3%	162	66.4%	206	69.8%	67	67.0%	290	68.1%	11	84.6%
道路、交通等の状況に応じて安全を確認して運転しなければならない	366	67.9%	162	66.4%	204	69.2%	67	67.0%	288	67.6%	11	84.6%
右折、左折をするときは、方向指示器等により、合図をしなければならない	378	70.1%	168	68.9%	210	71.2%	70	70.0%	297	69.7%	11	84.6%
無回答	141	26.2%	61	25.0%	80	27.1%	27	27.0%	113	26.5%	1	7.7%

問 13-2 あなたは、自動車を運転するとき同乗者にシートベルトを着用させていますか。(ひとつに○)

同乗者のシートベルトの着用状況については、「必ずさせている」が 88.7%と最も多く、次いで「たまにさせないことがある」が 7.1%、「させていない」が 0.9%となっている。



【属性別特徴】

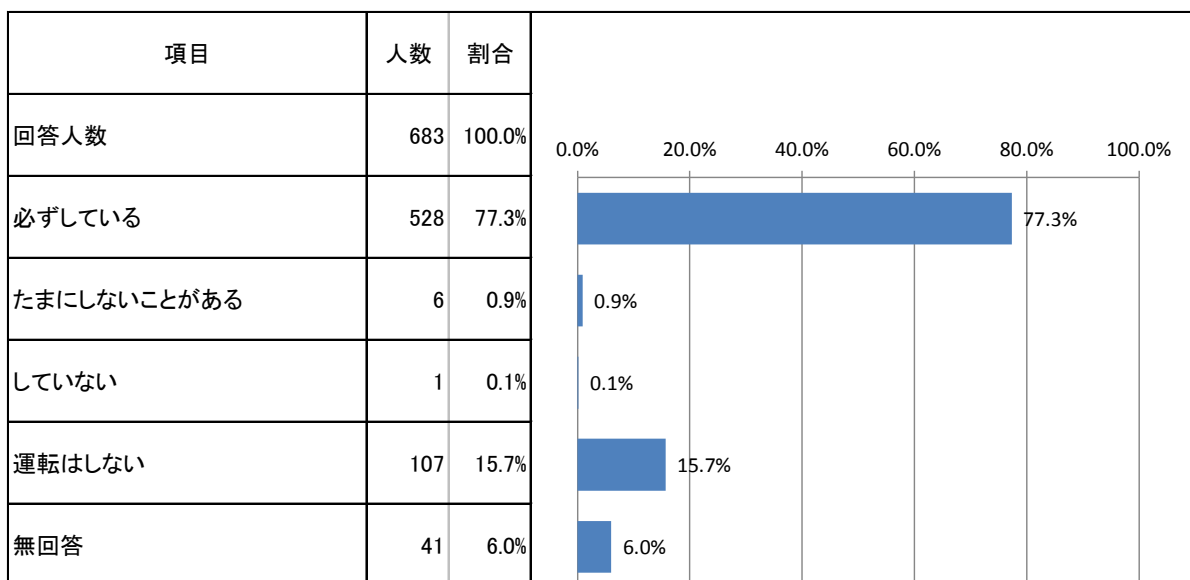
性別・年齢別では、大きな差異はみられない。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	539	100.0%	244	100.0%	295	100.0%	100	100.0%	426	100.0%	13	100.0%
必ずさせている	478	88.7%	218	89.3%	260	88.1%	88	88.0%	378	88.7%	12	92.3%
たまにさせないことがある	38	7.1%	19	7.8%	19	6.4%	9	9.0%	29	6.8%	0	0.0%
させていない	5	0.9%	1	0.4%	4	1.4%	2	2.0%	3	0.7%	0	0.0%
他の者を同乗させることはない	4	0.7%	2	0.8%	2	0.7%	1	1.0%	3	0.7%	0	0.0%
無回答	14	2.6%	4	1.6%	10	3.4%	0	0.0%	13	3.1%	1	7.7%

問 14 あなたは、自動車の運転席、助手席、後部座席に乗車しているときにシートベルトを着用していますか。(ひとつに○)

(運転席)

運転席に乗車中のシートベルトの着用状況については、「必ずしている」が 77.3%と最も多く、次いで「運転はしない」が 15.7%、「たまにしないことがある」が 0.9%となっている。



【属性別特徴】

性別では、男の「必ずしている」が 84.2%で、女の 72.4%に比べて高くなっている。

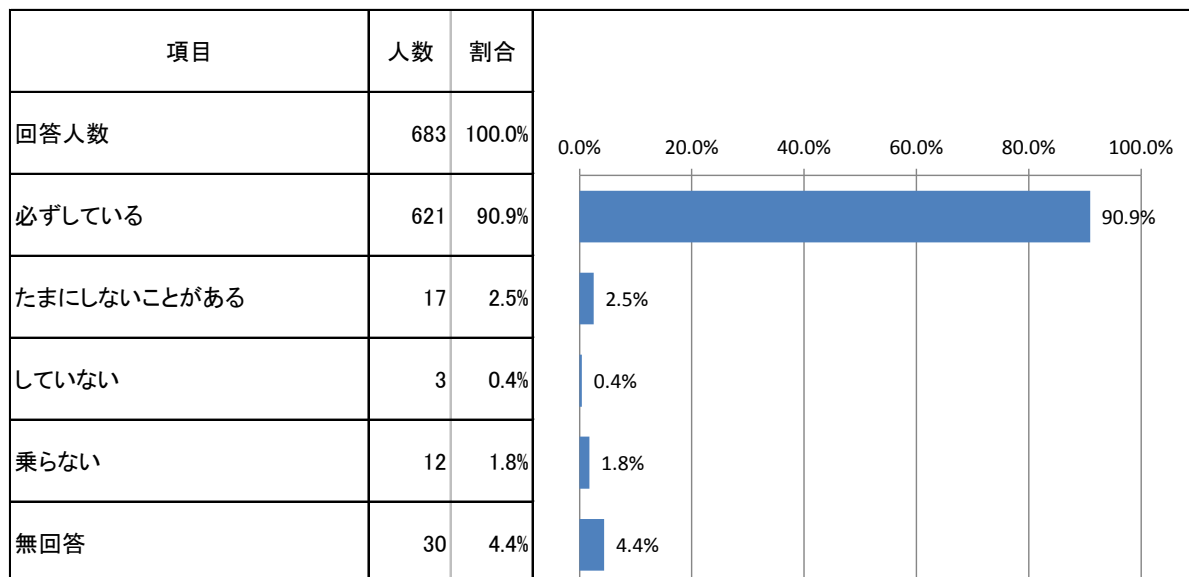
年齢別では、40～64歳の「必ずしている」が 79.3%で、40歳未満の 69.5%に比べてやや高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
必ずしている	528	77.3%	239	84.2%	289	72.4%	98	69.5%	418	79.3%	12	80.0%
たまにしないことがある	6	0.9%	4	1.4%	2	0.5%	2	1.4%	4	0.8%	0	0.0%
していない	1	0.1%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%
運転はしない	107	15.7%	25	8.8%	82	20.6%	32	22.7%	73	13.9%	2	13.3%
無回答	41	6.0%	15	5.3%	26	6.5%	9	6.4%	32	6.1%	0	0.0%

【一般】

(助手席)

助手席に乗車中のシートベルトの着用状況については、「必ずしている」が90.9%と最も多く、次いで「たまにしないことがある」が2.5%、「乗らない」が1.8%となっている。



【属性別特徴】

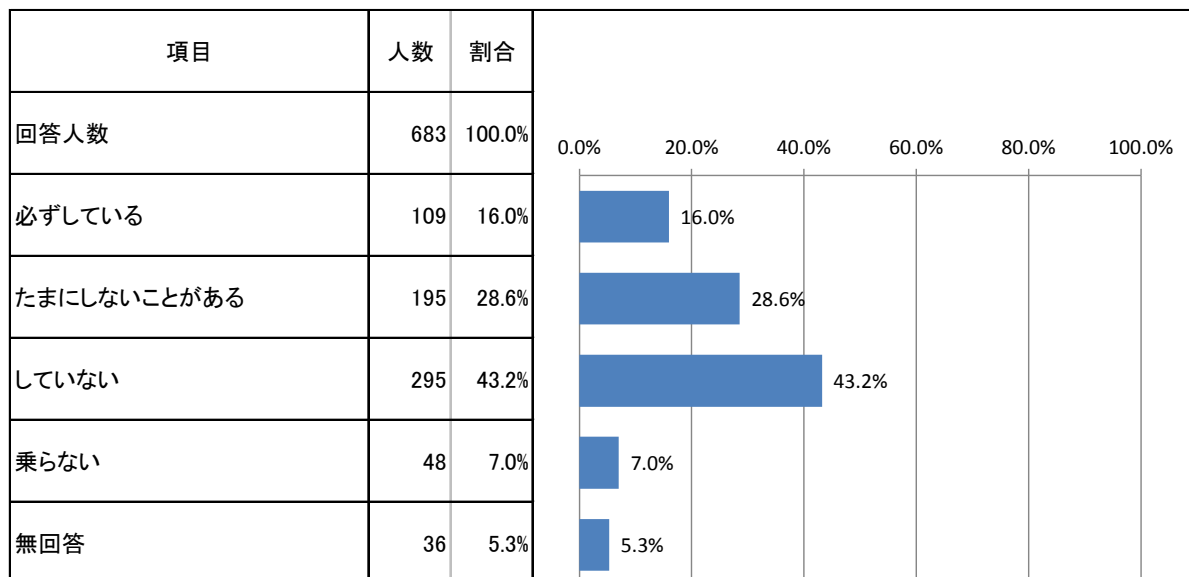
性別・年齢別では、大きな差異はみられない。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
必ずしている	621	90.9%	258	90.8%	363	91.0%	127	90.1%	480	91.1%	14	93.3%
たまにしないことがある	17	2.5%	9	3.2%	8	2.0%	6	4.3%	11	2.1%	0	0.0%
していない	3	0.4%	2	0.7%	1	0.3%	1	0.7%	1	0.2%	1	6.7%
乗らない	12	1.8%	3	1.1%	9	2.3%	3	2.1%	9	1.7%	0	0.0%
無回答	30	4.4%	12	4.2%	18	4.5%	4	2.8%	26	4.9%	0	0.0%

【一般】

(後部座席)

後部座席に乗車中のシートベルトの着用状況については、「していない」が43.2%と最も多く、次いで「たまにしないことがある」が28.6%、「必ずしている」が16.0%となっている。



【属性別特徴】

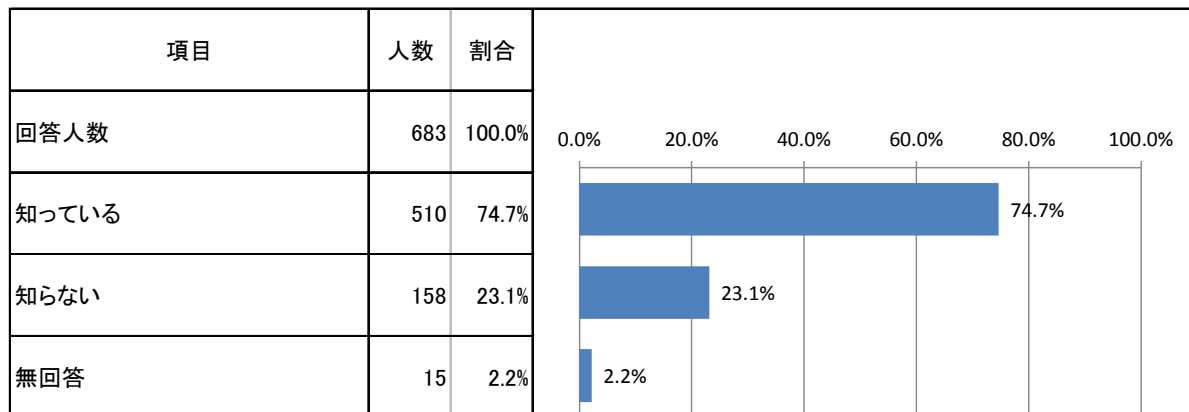
性別では、大きな差異はみられない。

年齢別では、40歳未満の「していない」が52.5%で、40～64歳の40.4%に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
必ずしている	109	16.0%	52	18.3%	57	14.3%	17	12.1%	92	17.5%	0	0.0%
たまにしないことがある	195	28.6%	74	26.1%	121	30.3%	40	28.4%	148	28.1%	7	46.7%
していない	295	43.2%	119	41.9%	176	44.1%	74	52.5%	213	40.4%	8	53.3%
乗らない	48	7.0%	25	8.8%	23	5.8%	5	3.5%	43	8.2%	0	0.0%
無回答	36	5.3%	14	4.9%	22	5.5%	5	3.5%	31	5.9%	0	0.0%

問 15 あなたは、後部座席のシートベルト着用が義務化されたことを知っていますか。(ひとつに○)

後部座席シートベルトの着用義務化の認識度については、「知っている」が 74.7%、「知らない」が 23.1%となっている。



【属性別特徴】

性別では、男の「知っている」が 79.9%で、女の 70.9%に比べてやや高くなっている。

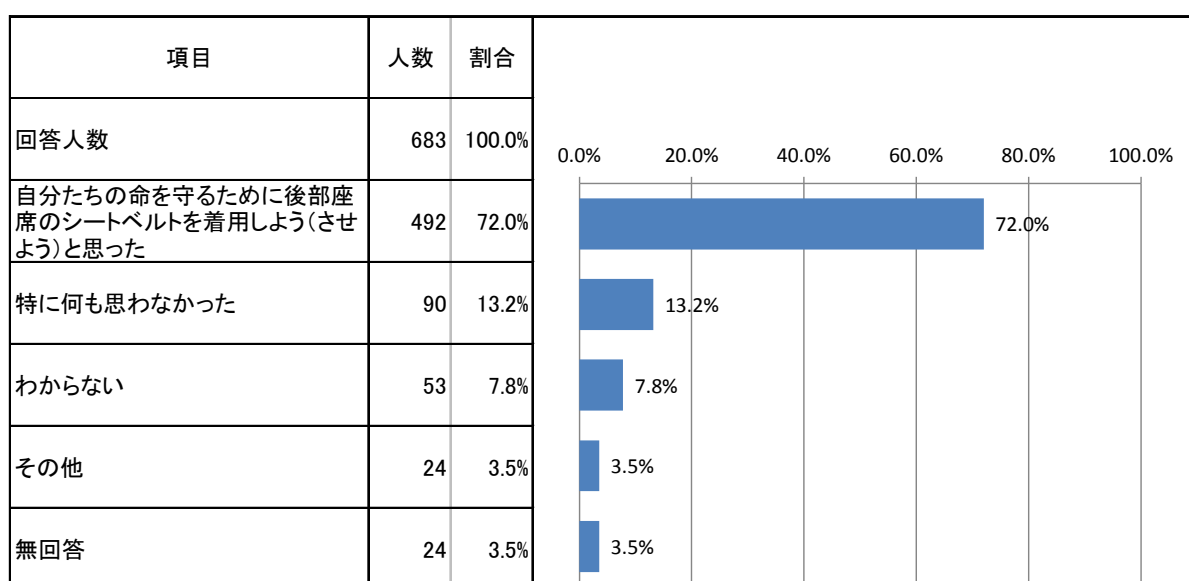
年齢別では、大きな差異はみられない。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
知っている	510	74.7%	227	79.9%	283	70.9%	105	74.5%	395	75.0%	10	66.7%
知らない	158	23.1%	53	18.7%	105	26.3%	33	23.4%	120	22.8%	5	33.3%
無回答	15	2.2%	4	1.4%	11	2.8%	3	2.1%	12	2.3%	0	0.0%

問 16 鹿児島県の一般道におけるシートベルトの着用率は運転者が98.3%、助手席者が94.0%、後部座席者が30.1%で、後部座席者の着用率が運転者・助手席者に比べて著しく低い状況ですが、あなたはこのことについてどう思いますか。(ひとつに○)

後部座席者のシートベルト着用率が著しく低いことについては、「自分たちの命を守るために後部座席のシートベルトを着用しよう(させよう)と思った」が72.0%と最も多く、次いで「特に何も思わなかった」が13.2%、「わからない」が7.8%となっている。

「その他」の具体的な内容としては、「義務化になったことを広く伝えるべきだ」等が挙げられた。



【属性別特徴】

性別では、女の「自分たちの命を守るために後部座席のシートベルトを着用しよう（させよう）と思った」が74.4%で、男の68.7%に比べてやや高くなっている。

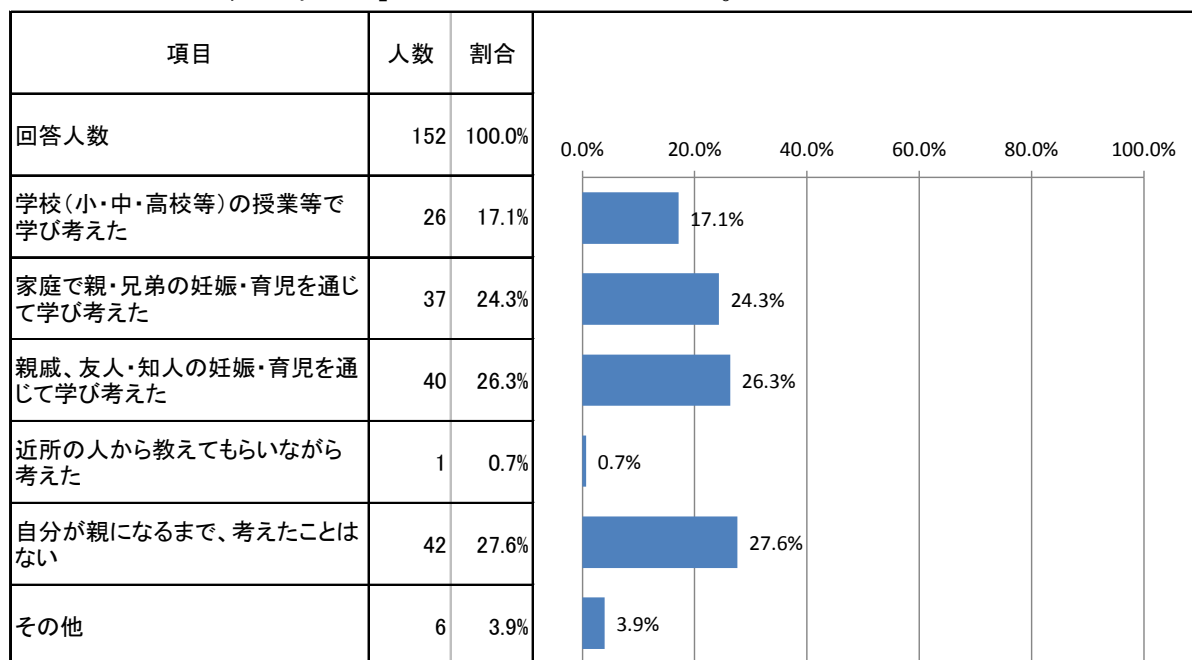
年齢別では、40歳～64歳の「自分たちの命を守るために後部座席のシートベルトを着用しよう（させよう）と思った」が74.4%で、40歳未満の63.8%に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
自分たちの命を守るために後部座席のシートベルトを着用しよう(させよう)と思った	492	72.0%	195	68.7%	297	74.4%	90	63.8%	392	74.4%	10	66.7%
特に何も思わなかった	90	13.2%	48	16.9%	42	10.5%	24	17.0%	62	11.8%	4	26.7%
わからない	53	7.8%	20	7.0%	33	8.3%	15	10.6%	37	7.0%	1	6.7%
その他	24	3.5%	13	4.6%	11	2.8%	7	5.0%	17	3.2%	0	0.0%
無回答	24	3.5%	8	2.8%	16	4.0%	5	3.5%	19	3.6%	0	0.0%

※現在、子育て中の方（18歳以下のお子さんがいらっしゃる方）にお聞きします。

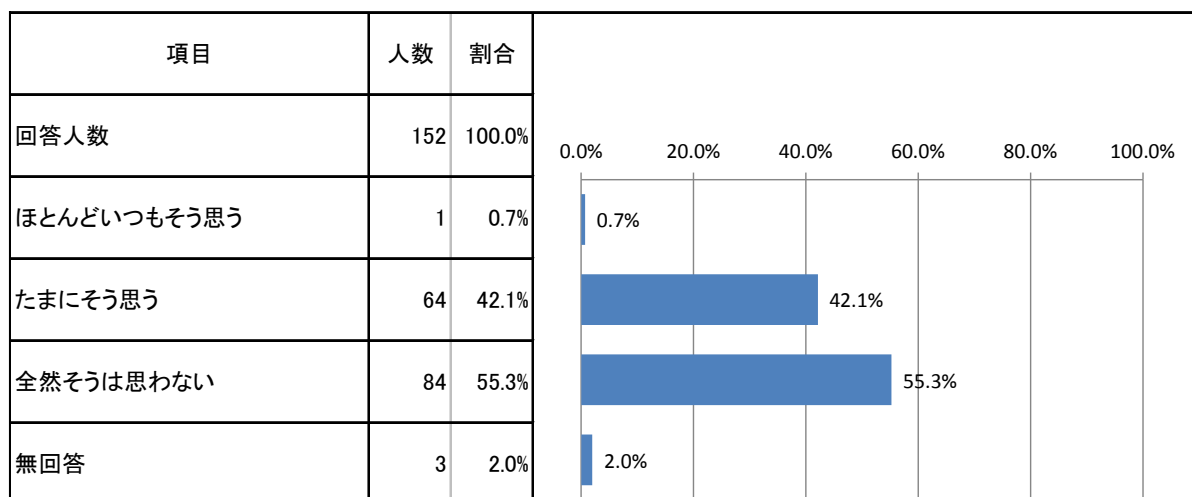
問 17 あなたは、自分が親になる前に、妊娠や子どもを育てるということについて、考える機会がありましたか。（ひとつに○）

自分が親になる前に妊娠や子育てのことを考える機会があったかについては、「自分が親になるまで、考えたことはない」が27.6%と最も多く、次いで「親戚・友人・知人の妊娠・育児を通じて学び考えた」が26.3%、「家庭で親・兄弟の妊娠・育児を通じて学び考えた」が24.3%となっている。



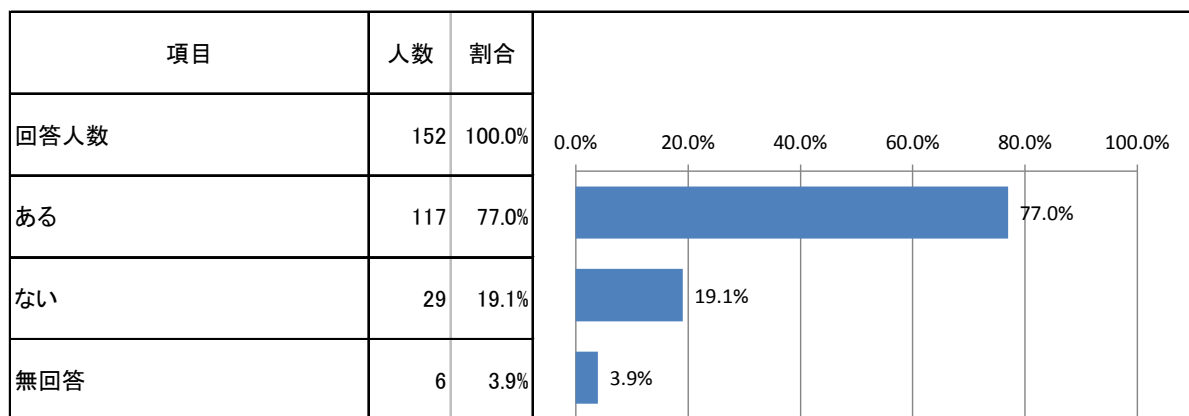
問 18 あなたは、子どもに手をあげたくなったり、世話したくないと思うときがありますか。（ひとつに○）

子どもに手をあげたくなったり、世話したくないと思うときがあるかについては、「全然そうは思わない」が55.3%と最も多く、次いで「たまにそう思う」が42.1%となっている。



問 19 あなたは、子育てで困ったときに相談する人や施設がありますか。
(ひとつに○)

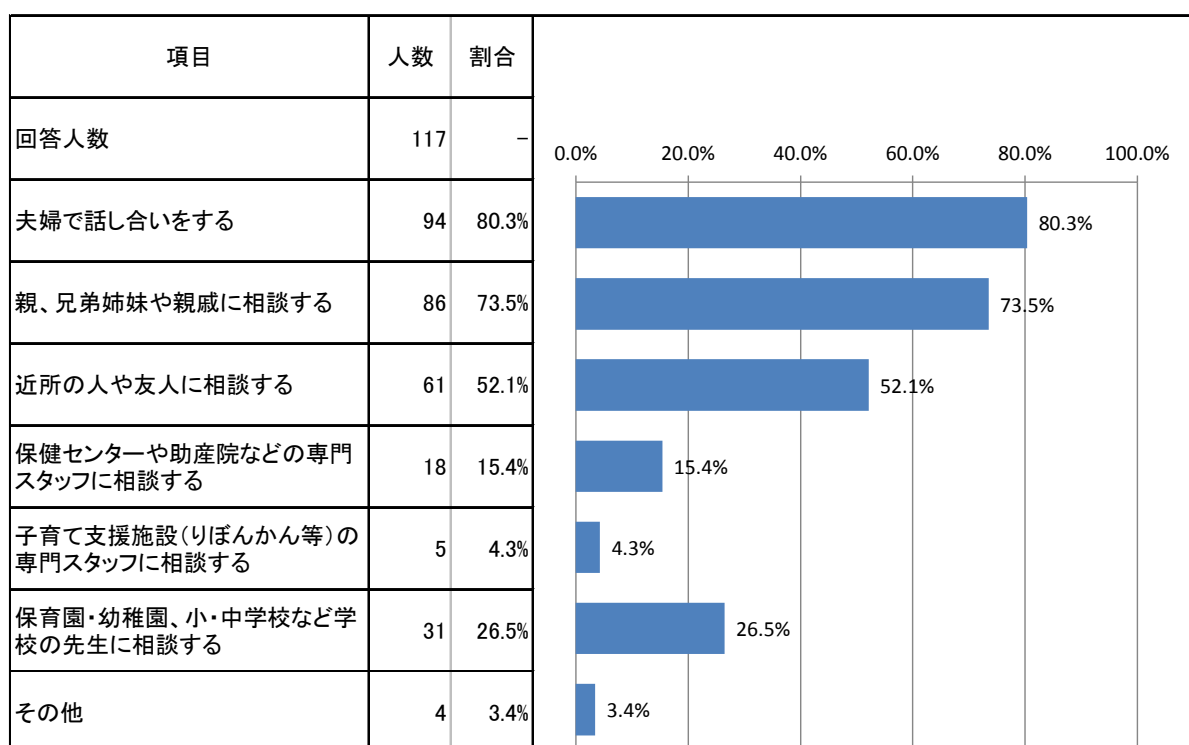
子育てで困ったときの相談先については、「ある」が 77.0%、「ない」が 19.1%となっている。



※問 19 で『①ある』とご回答された方にお聞きします。

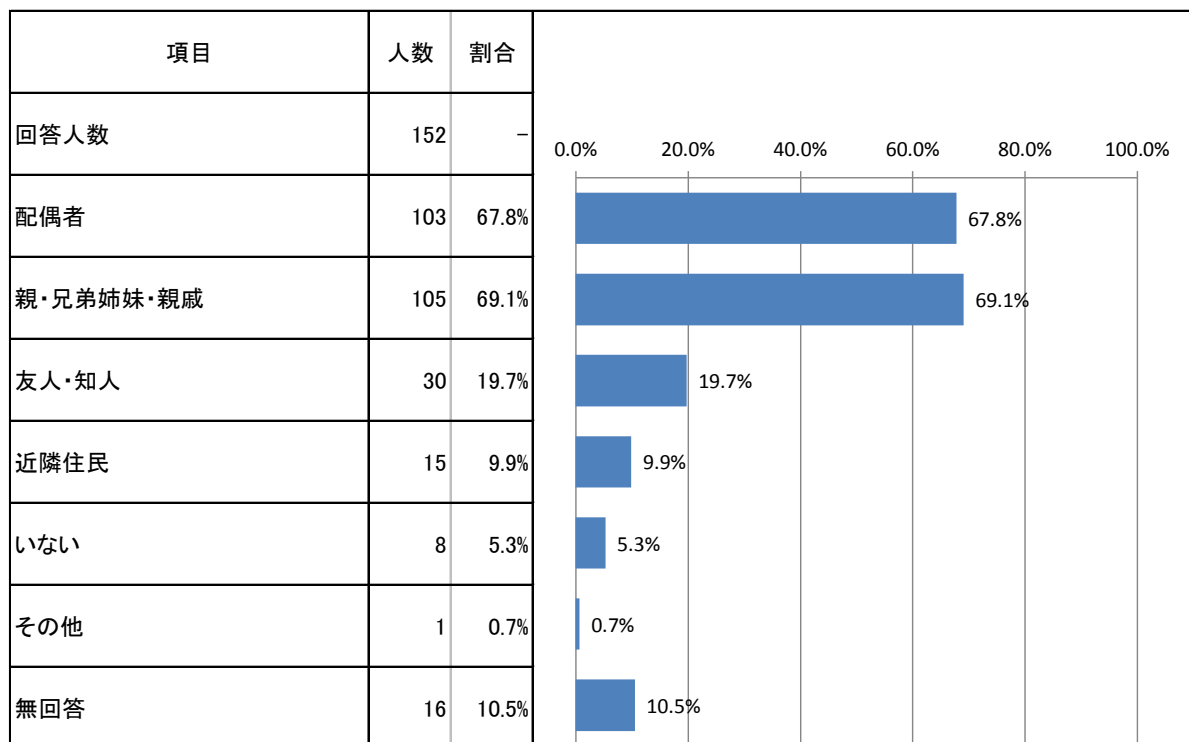
問 20 あなたは、子育てで困ったとき、誰に（又はどこに）相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

子育てで困ったときの具体的な相談先については、「夫婦で話し合いをする」が 80.3%と最も多く、次いで「親、兄弟姉妹や親戚に相談する」が 73.5%、「近所の人や友人に相談する」が 52.1%となっている。



問21 あなたの子育てを手伝ってくれる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

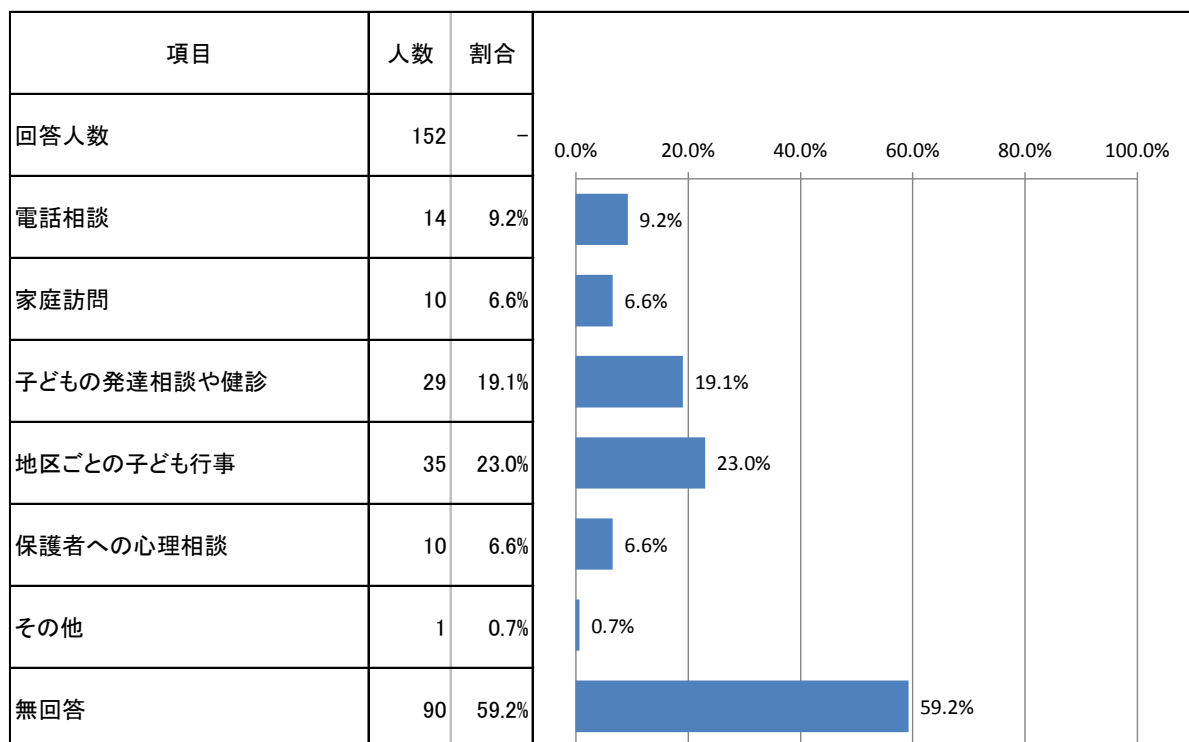
子育てを手伝ってくれる人については、「親・兄弟姉妹・親戚」が 69.1%と最も多く、次いで「配偶者」が 67.8%、「友人・知人」が 19.7%となっている。



問 22 あなた（保護者）は、どのような子育て支援を活用していますか。
また、どのような子育て支援があればいいと考えていますか。
（最も希望するもの3つに○）

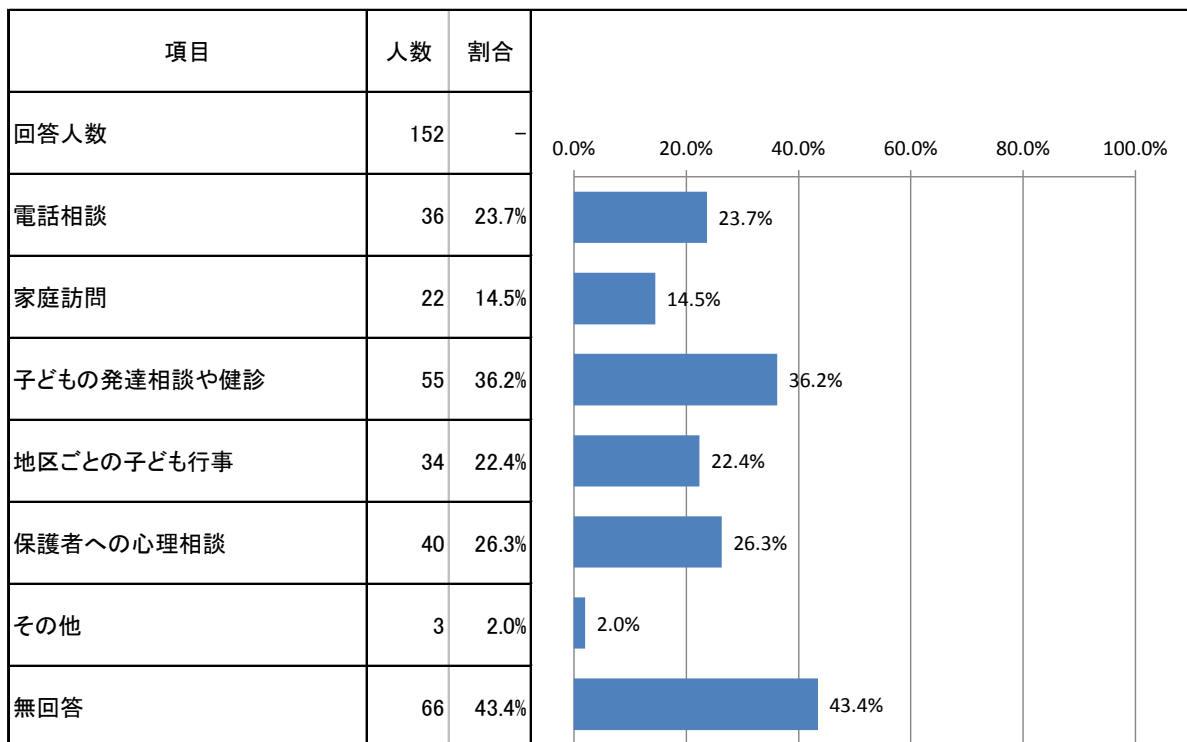
（現在、活用している）

子育て支援の活用状況については、「地区ごとの子ども行事」が 23.0%と最も多く、次いで「子どもの発達相談や健診」が 19.1%、「電話相談」が 9.2%となっている。



(充実して欲しい)

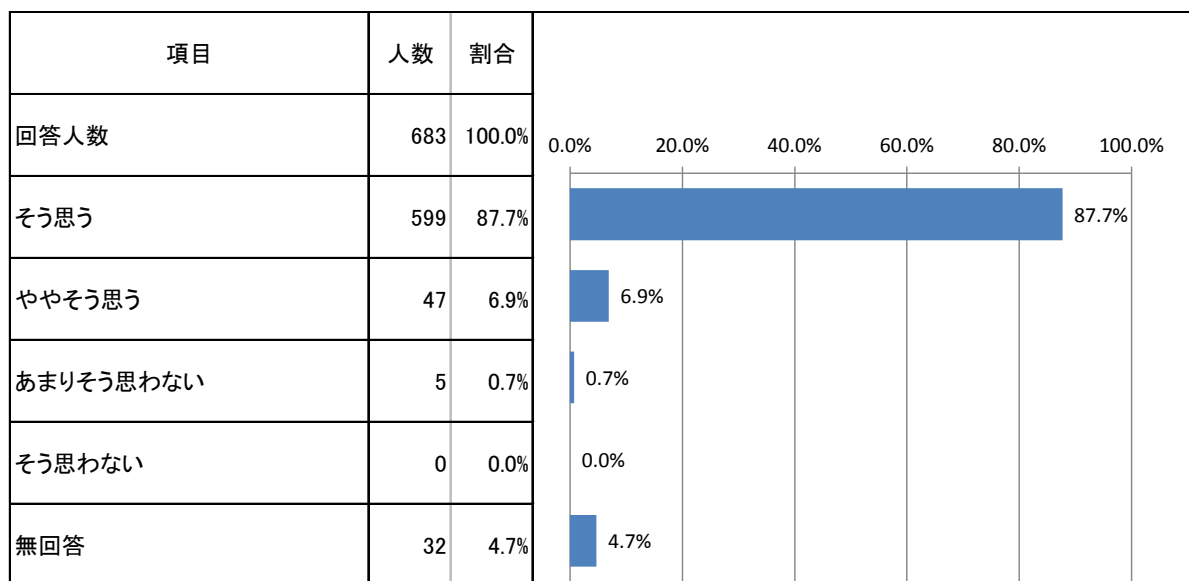
充実して欲しい子育て支援については、「子どもの発達相談や健診」が 36.2%と最も多く、次いで「保護者への心理相談」が 26.3%、「地区ごとの子ども行事」が 22.4%となっている。



問 23 配偶者等からの暴力は、多くの場合女性が被害者となっています。このような配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）について、あなたはどのように思われますか。（AからFの項目ごとにひとつに○）

A ドメスティック・バイオレンスは人権を侵害する行為であると思う

ドメスティック・バイオレンスは人権を侵害する行為だと思うかについては、「そう思う」が 87.7%と最も多く、次いで「ややそう思う」が 6.9%、「あまりそう思わない」が 0.7%となっている。



【属性別特徴】

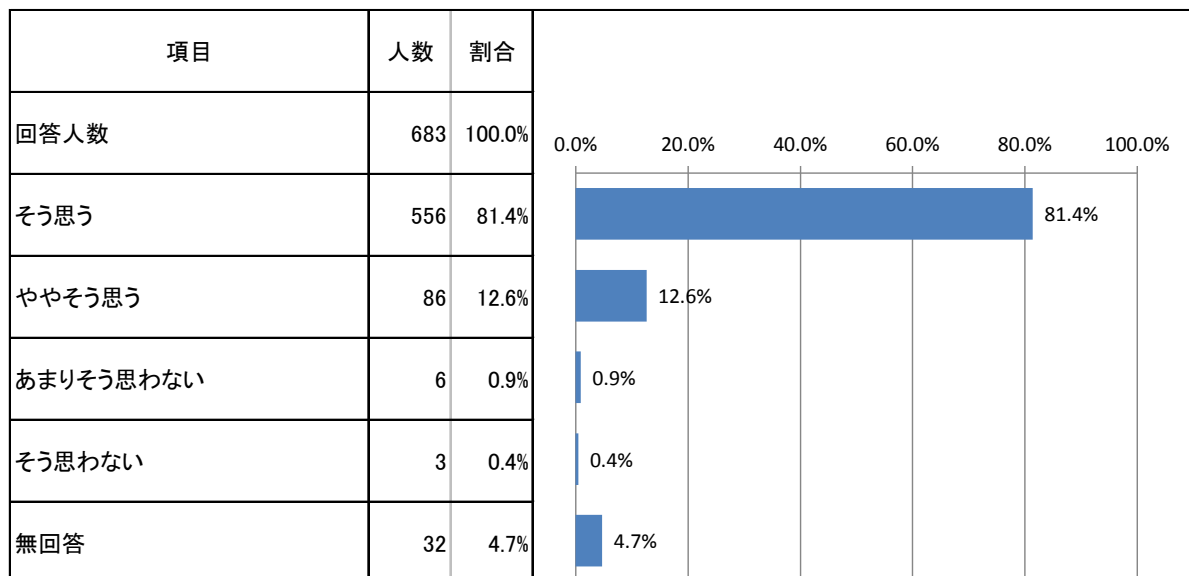
性別では、女の「そう思う」が 90.2%で、男の 84.2%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、大きな差異はみられない。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
そう思う	599	87.7%	239	84.2%	360	90.2%	118	83.7%	467	88.6%	14	93.3%
ややそう思う	47	6.9%	23	8.1%	24	6.0%	15	10.6%	31	5.9%	1	6.7%
あまりそう思わない	5	0.7%	3	1.1%	2	0.5%	1	0.7%	4	0.8%	0	0.0%
そう思わない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	32	4.7%	19	6.7%	13	3.3%	7	5.0%	25	4.7%	0	0.0%

B どんな理由があっても暴力をふるうべきではないと思う

どんな理由があっても暴力をふるうべきではないと思うかについては、「そう思う」が81.4%と最も多く、次いで「ややそう思う」が12.6%、「あまりそう思わない」が0.9%となっている。



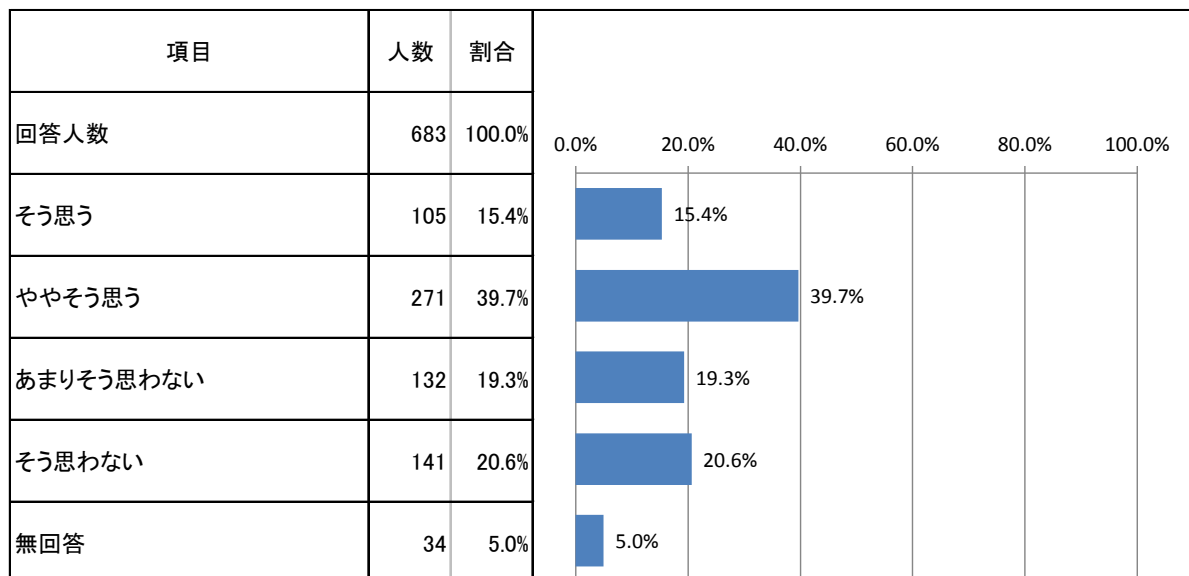
【属性別特徴】

性別・年齢別では、大きな差異はみられない。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
そう思う	556	81.4%	225	79.2%	331	83.0%	111	78.7%	432	82.0%	13	86.7%
ややそう思う	86	12.6%	39	13.7%	47	11.8%	19	13.5%	65	12.3%	2	13.3%
あまりそう思わない	6	0.9%	2	0.7%	4	1.0%	2	1.4%	4	0.8%	0	0.0%
そう思わない	3	0.4%	0	0.0%	3	0.8%	2	1.4%	1	0.2%	0	0.0%
無回答	32	4.7%	18	6.3%	14	3.5%	7	5.0%	25	4.7%	0	0.0%

C 暴力をふるわれる方にも問題があると思う

暴力をふるわれる方にも問題があると思うかについては、「ややそう思う」が 39.7%と最も多く、次いで「そう思わない」が 20.6%、「あまりそう思わない」が 19.3%となっている。



【属性別特徴】

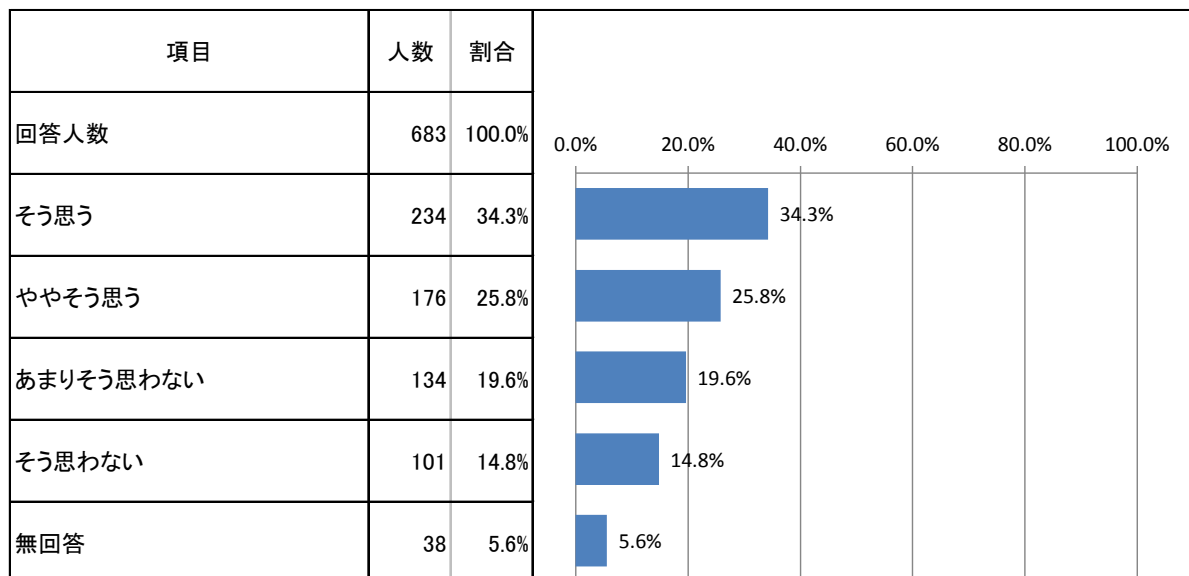
性別では、女の「そう思わない」が 24.1%で、男の 15.8%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、40歳～64歳の「ややそう思う」が 42.1%で、40歳未満の 29.1%に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
そう思う	105	15.4%	49	17.3%	56	14.0%	18	12.8%	85	16.1%	2	13.3%
ややそう思う	271	39.7%	112	39.4%	159	39.8%	41	29.1%	222	42.1%	8	53.3%
あまりそう思わない	132	19.3%	59	20.8%	73	18.3%	47	33.3%	83	15.7%	2	13.3%
そう思わない	141	20.6%	45	15.8%	96	24.1%	28	19.9%	110	20.9%	3	20.0%
無回答	34	5.0%	19	6.7%	15	3.8%	7	5.0%	27	5.1%	0	0.0%

D 暴力をふるう相手から別れたいと思えばいつでも別れられると思う

暴力をふるう相手といつでも別れられると思うかについては、「そう思う」が34.3%と最も多く、次いで「ややそう思う」が25.8%、「あまりそう思わない」が19.6%となっている。



【属性別特徴】

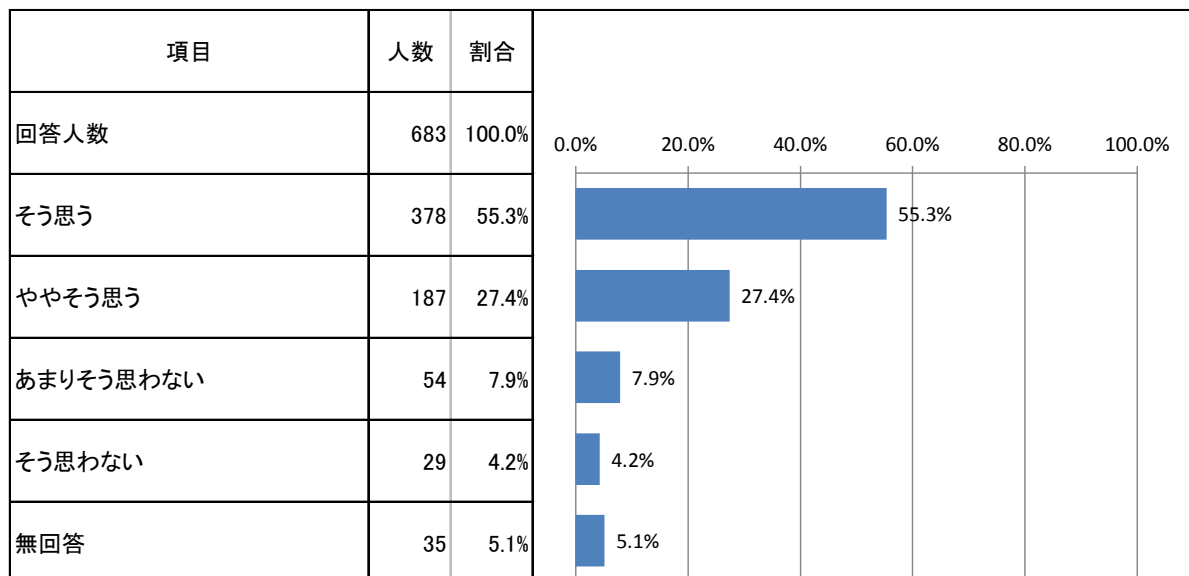
性別では、女の「そう思わない」が17.3%で、男の11.3%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、40歳～64歳の「そう思う」が36.8%で、40歳未満の23.4%に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
そう思う	234	34.3%	100	35.2%	134	33.6%	33	23.4%	194	36.8%	7	46.7%
ややそう思う	176	25.8%	77	27.1%	99	24.8%	30	21.3%	142	26.9%	4	26.7%
あまりそう思わない	134	19.6%	55	19.4%	79	19.8%	33	23.4%	98	18.6%	3	20.0%
そう思わない	101	14.8%	32	11.3%	69	17.3%	37	26.2%	63	12.0%	1	6.7%
無回答	38	5.6%	20	7.0%	18	4.5%	8	5.7%	30	5.7%	0	0.0%

E 暴力は個人的な問題ではなく、社会的に対策が必要な問題だと思う

暴力は個人的な問題ではなく、社会的に対策が必要な問題だと思うかについては、「そう思う」が55.3%と最も多く、次いで「ややそう思う」が27.4%、「あまりそう思わない」が7.9%となっている。



【属性別特徴】

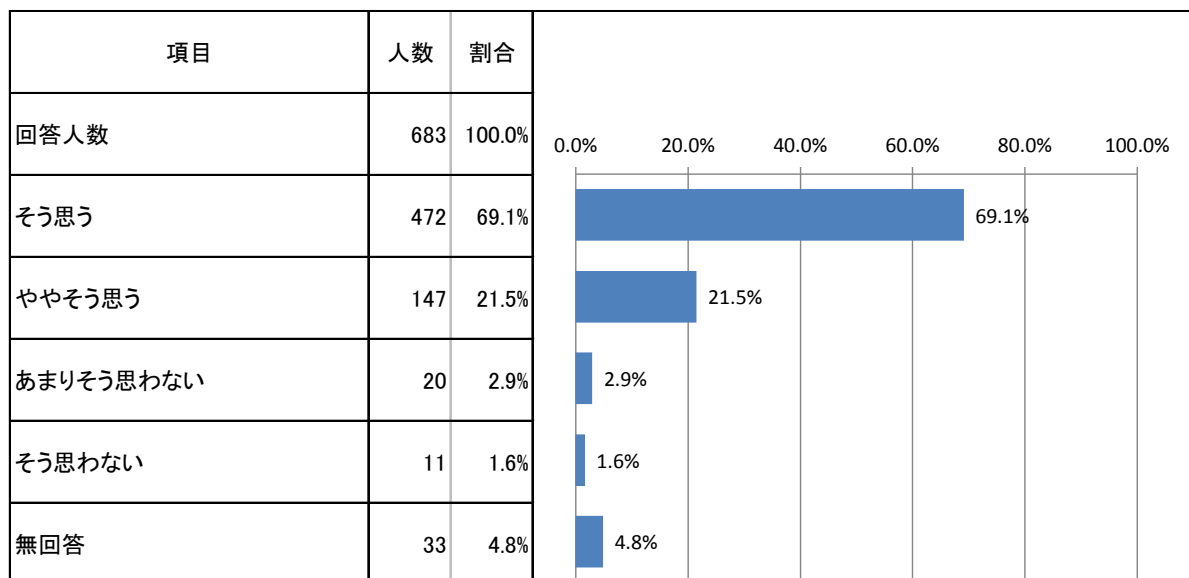
性別では、大きな差異はみられない。

年齢別では、40歳未満の「そう思う」が59.6%で、40歳～64歳の54.1%に比べてやや高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
そう思う	378	55.3%	149	52.5%	229	57.4%	84	59.6%	285	54.1%	9	60.0%
ややそう思う	187	27.4%	72	25.4%	115	28.8%	35	24.8%	148	28.1%	4	26.7%
あまりそう思わない	54	7.9%	24	8.5%	30	7.5%	10	7.1%	43	8.2%	1	6.7%
そう思わない	29	4.2%	19	6.7%	10	2.5%	5	3.5%	23	4.4%	1	6.7%
無回答	35	5.1%	20	7.0%	15	3.8%	7	5.0%	28	5.3%	0	0.0%

F 夫婦間の暴力であっても、求めに応じて警察や行政の相談機関が積極的に関わるべきであると思う

夫婦間の暴力であっても、行政などの相談機関が積極的に関わるべきであると思うかについては、「そう思う」が 69.1%と最も多く、次いで「ややそう思う」が 21.5%、「あまりそう思わない」が 2.9%となっている。



【属性別特徴】

性別では、女の「そう思う」が 73.7%で、男の 62.7%に比べて高くなっている。

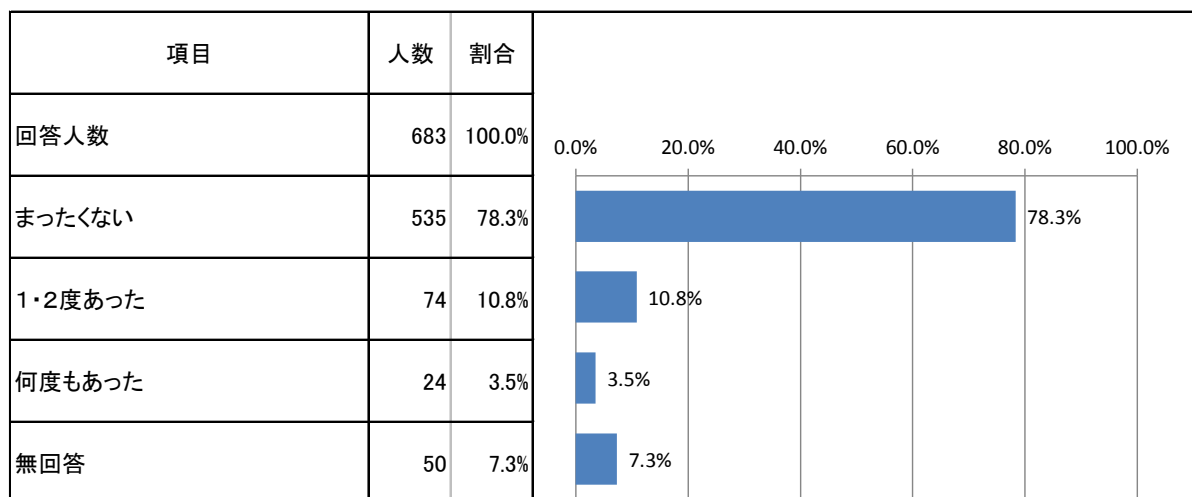
年齢別では、40歳未満の「そう思う」が 80.1%で、40歳～64歳の 66.0%に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
そう思う	472	69.1%	178	62.7%	294	73.7%	113	80.1%	348	66.0%	11	73.3%
ややそう思う	147	21.5%	70	24.6%	77	19.3%	20	14.2%	124	23.5%	3	20.0%
あまりそう思わない	20	2.9%	9	3.2%	11	2.8%	2	1.4%	17	3.2%	1	6.7%
そう思わない	11	1.6%	7	2.5%	4	1.0%	0	0.0%	11	2.1%	0	0.0%
無回答	33	4.8%	20	7.0%	13	3.3%	6	4.3%	27	5.1%	0	0.0%

問 24 あなたはこれまでに、配偶者や交際相手から次のようなことをされたことがありますか。(AからCの項目ごとにひとつに○)

A なぐられたり、けられたり、物を投げつけられたり、突き飛ばされたりするなどの身体に対する暴行を受けた

身体に対する暴行を受けた経験については、「まったくない」が 78.3%と最も多く、次いで「1・2度あった」が 10.8%、「何度もあった」が 3.5%となっている。



【属性別特徴】

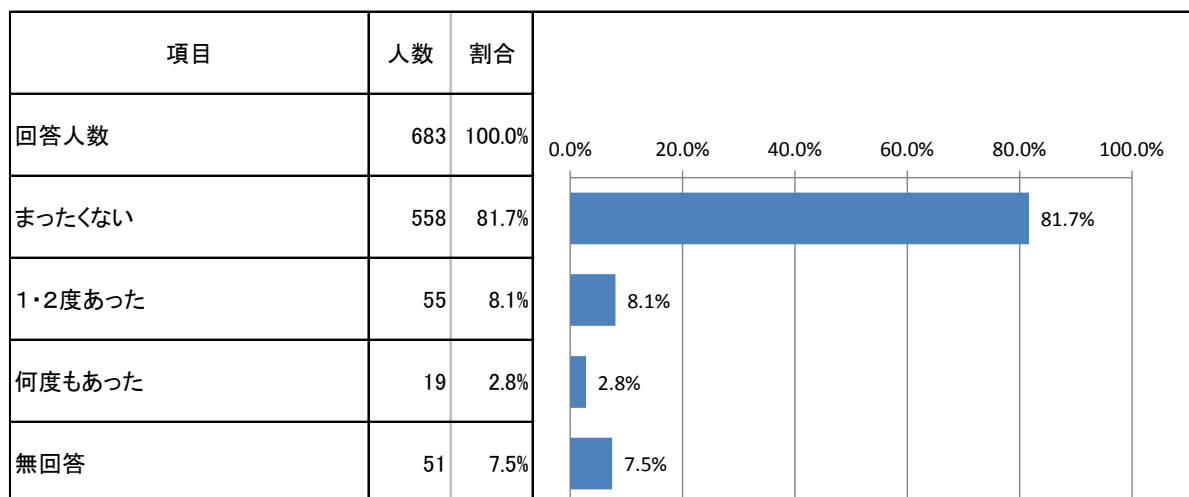
性別では、女の「何どもあった」が 6.0%で、男の 0.0%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、大きな差異はみられない。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
まったくない	535	78.3%	223	78.5%	312	78.2%	110	78.0%	414	78.6%	11	73.3%
1・2度あった	74	10.8%	26	9.2%	48	12.0%	12	8.5%	59	11.2%	3	20.0%
何どもあった	24	3.5%	0	0.0%	24	6.0%	5	3.5%	19	3.6%	0	0.0%
無回答	50	7.3%	35	12.3%	15	3.8%	14	9.9%	35	6.6%	1	6.7%

B 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視されるなどの精神的な嫌がらせ、あるいは、あなたもしくはあなたの家族が危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた

精神的苦痛を受けた経験については、「まったくない」が 81.7%と最も多く、次いで「1・2度あった」が8.1%、「何度もあった」が2.8%となっている。



【属性別特徴】

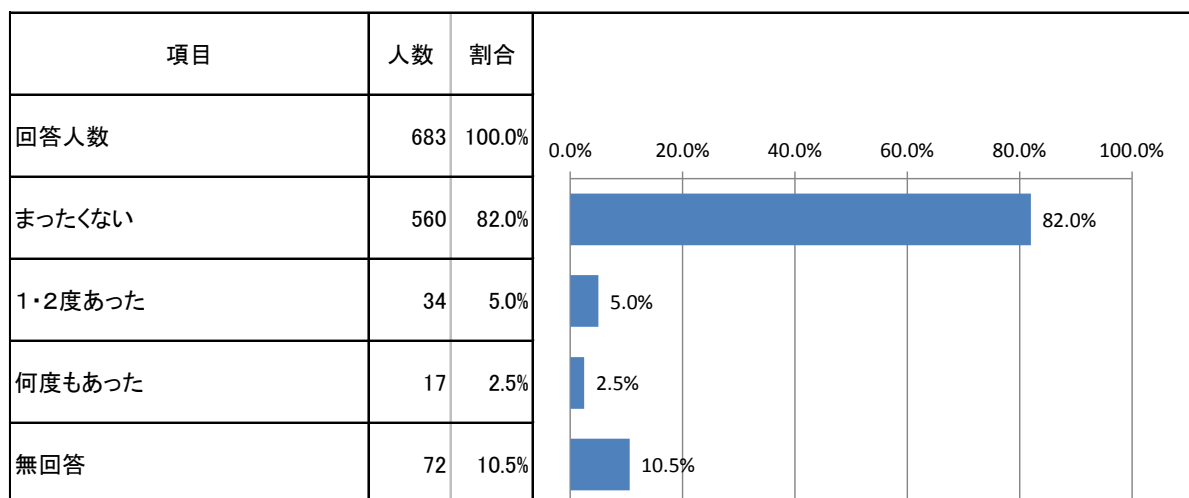
性別では、女の「1・2度あった」が 11.5%で、男の 3.2%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、40歳～64歳の「まったくない」が82.9%で、40歳未満の76.6%に比べてやや高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
まったくない	558	81.7%	239	84.2%	319	79.9%	108	76.6%	437	82.9%	13	86.7%
1・2度あった	55	8.1%	9	3.2%	46	11.5%	13	9.2%	41	7.8%	1	6.7%
何度もあった	19	2.8%	1	0.4%	18	4.5%	6	4.3%	13	2.5%	0	0.0%
無回答	51	7.5%	35	12.3%	16	4.0%	14	9.9%	36	6.8%	1	6.7%

C 避妊に協力しなかったり、嫌がっているのに性的な行為を強要された

性的な行為を強要された経験については、「まったくない」が82.0%と最も多く、次いで「1・2度あった」が5.0%、「何度もあった」が2.5%となっている。



【属性別特徴】

性別では、女の「1・2度あった」が7.5%で、男の1.4%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、大きな差異はみられない。

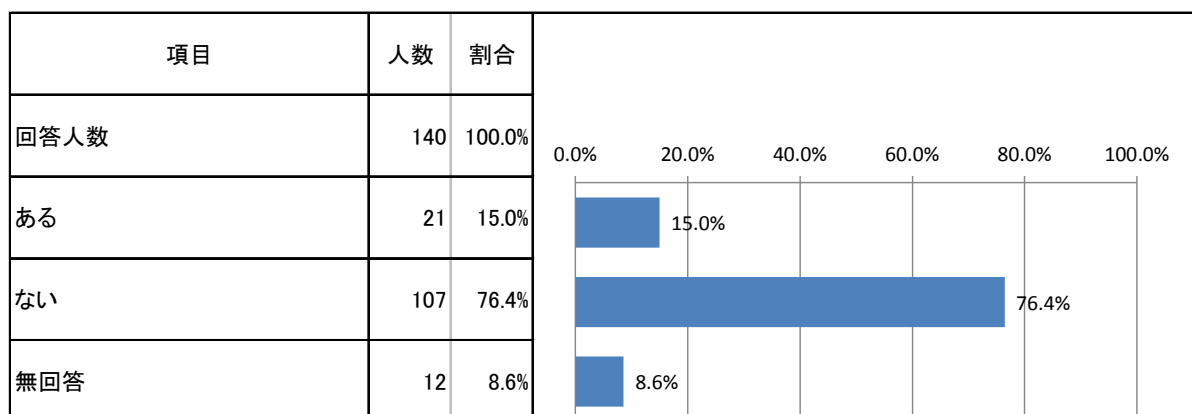
項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
まったくない	560	82.0%	234	82.4%	326	81.7%	119	84.4%	429	81.4%	12	80.0%
1・2度あった	34	5.0%	4	1.4%	30	7.5%	2	1.4%	31	5.9%	1	6.7%
何度もあった	17	2.5%	0	0.0%	17	4.3%	4	2.8%	13	2.5%	0	0.0%
無回答	72	10.5%	46	16.2%	26	6.5%	16	11.3%	54	10.2%	2	13.3%

【一般】

※問 24 で『②1・2度あった』または『③何度もあった』とご回答された方にお聞きします。

問 24-1 あなたはその相手から受けた暴力によって、命の危険を感じたことがありますか。(ひとつに○)

受けた暴力による命の危険については、「ある」が 15.0%、「ない」が 76.4%となっている。



【属性別特徴】

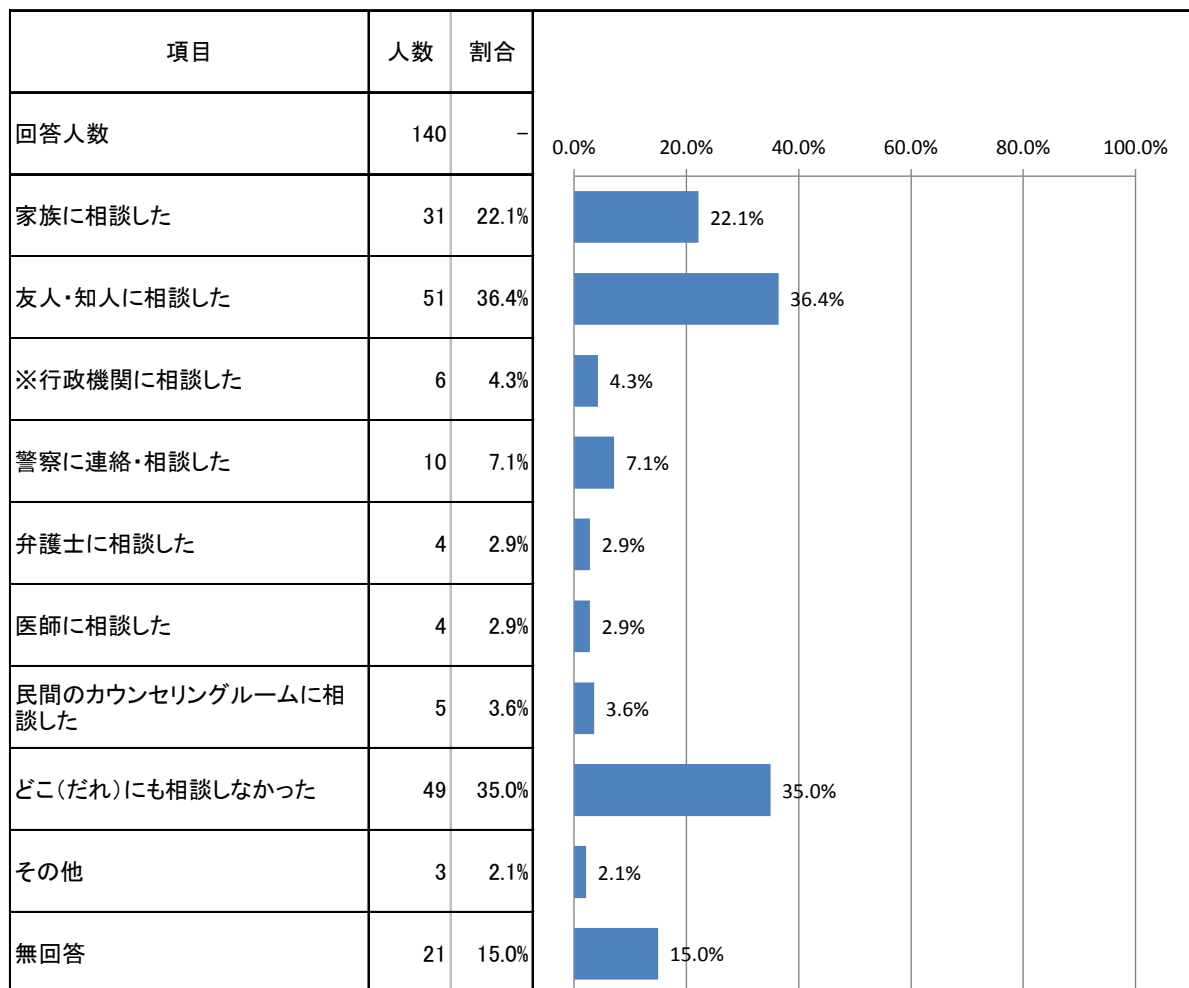
性別では、女の「ある」が 18.3%で、男の 3.2%に比べて高くなっている。

年齢別では、40歳未満の「ある」が 20.7%で、40歳～64歳の 13.9%に比べてやや高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	140	100.0%	31	100.0%	109	100.0%	29	100.0%	108	100.0%	3	100.0%
ある	21	15.0%	1	3.2%	20	18.3%	6	20.7%	15	13.9%	0	0.0%
ない	107	76.4%	26	83.9%	81	74.3%	23	79.3%	82	75.9%	2	66.7%
無回答	12	8.6%	4	12.9%	8	7.3%	0	0.0%	11	10.2%	1	33.3%

問 24-2 あなたはこれまでに、配偶者や交際相手から受けた行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。(あてはまるものすべてに○)

受けた暴力についての相談先については、「友人・知人に相談した」が 36.4%と最も多く、次いで「どこ（だれ）にも相談しなかった」が 35.0%、「家族に相談した」が 22.1%となっている。



※行政機関（鹿児島市男女共同参画センター（サンエールかごしま相談室）、鹿児島県男女共同参画センター、鹿児島市子どもと女性の相談室、鹿児島県女性相談センター、保健所、保健センター、法務局など）

【属性別特徴】

性別では、大きな差異はみられない。

年齢別では、40歳未満の「友人・知人に相談した」が62.1%で、40歳～64歳の29.6%に比べて高くなっている。

また、40歳～64歳の「どこ（だれ）にも相談しなかった」が38.9%で、40歳未満の20.7%に比べて高くなっている。

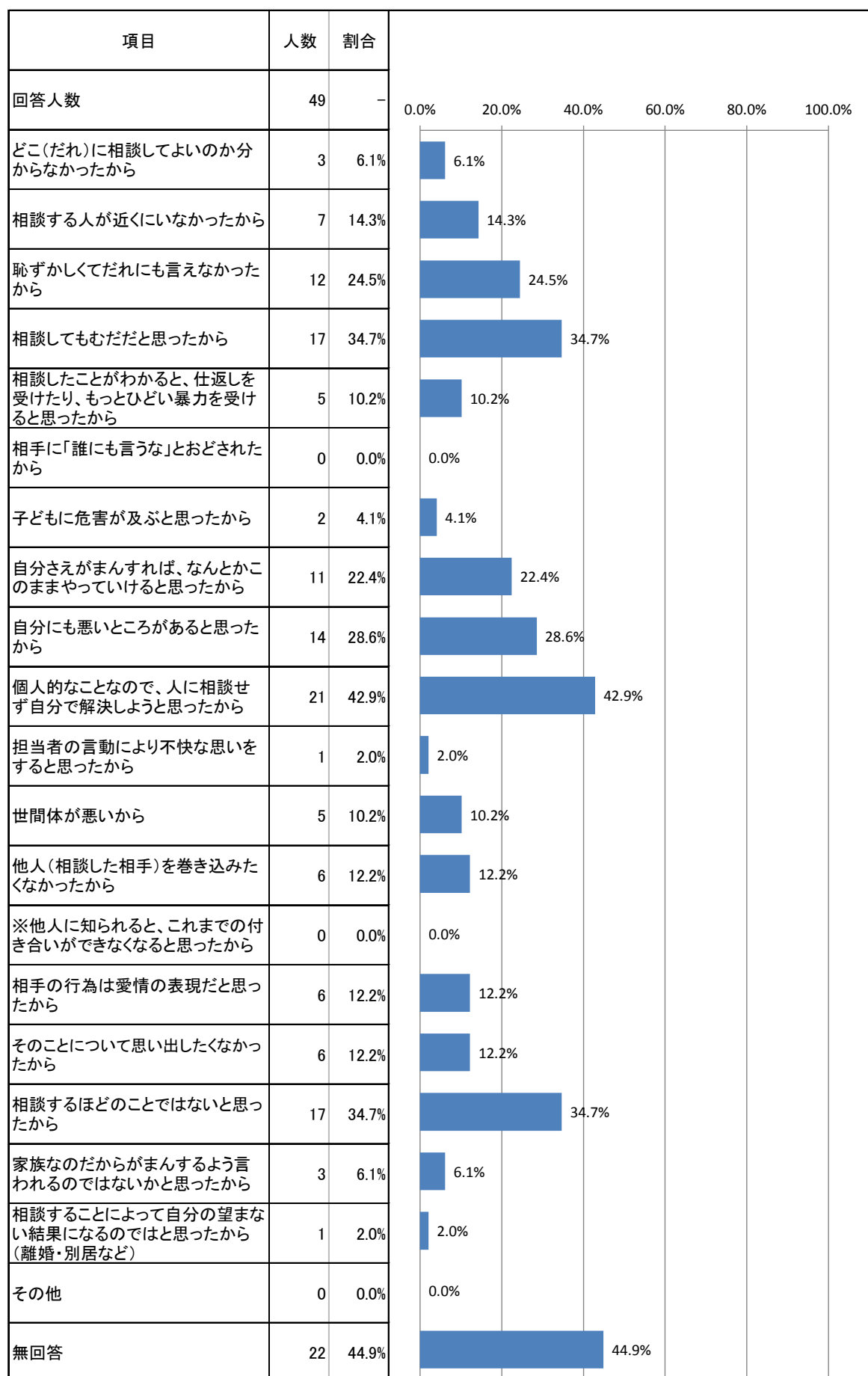
項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	140	-	31	-	109	-	29	-	108	-	3	-
家族に相談した	31	22.1%	6	19.4%	25	22.9%	8	27.6%	23	21.3%	0	0.0%
友人・知人に相談した	51	36.4%	12	38.7%	39	35.8%	18	62.1%	32	29.6%	1	33.3%
※行政機関に相談した	6	4.3%	2	6.5%	4	3.7%	3	10.3%	3	2.8%	0	0.0%
警察に連絡・相談した	10	7.1%	2	6.5%	8	7.3%	4	13.8%	6	5.6%	0	0.0%
弁護士に相談した	4	2.9%	0	0.0%	4	3.7%	1	3.4%	3	2.8%	0	0.0%
医師に相談した	4	2.9%	1	3.2%	3	2.8%	2	6.9%	2	1.9%	0	0.0%
民間のカウンセリングルームに相談した	5	3.6%	1	3.2%	4	3.7%	1	3.4%	4	3.7%	0	0.0%
どこ（だれ）にも相談しなかった	49	35.0%	12	38.7%	37	33.9%	6	20.7%	42	38.9%	1	33.3%
その他	3	2.1%	0	0.0%	3	2.8%	2	6.9%	1	0.9%	0	0.0%
無回答	21	15.0%	5	16.1%	16	14.7%	1	3.4%	19	17.6%	1	33.3%

※行政機関（鹿児島市男女共同参画センター（サンエールかごしま相談室）、鹿児島県男女共同参画センター、鹿児島市子どもと女性の相談室、鹿児島県女性相談センター、保健所、保健センター、法務局など）

※問 24-2 で『⑧どこ（だれ）にも相談しなかった』とご回答された方にお聞きします。

問 24-3 どこ（だれ）にも相談しなかったのはなぜですか。（あてはまるものすべてに○）

受けた暴力に対して相談をしなかった理由については、「個人的なことなので、人に相談せず自分で解決しようと思ったから」が 42.9%と最も多く、次いで「相談してもむだだと思ったから」、「相談するほどのことではないと思ったから」が 34.7%となっている。



※他人(相談したいと思っている相手)に知られると、これまでの付き合い(仕事や学校などの人間関係)ができなくなると思ったから

【属性別特徴】

性別では、男の「相談するほどのことではないと思ったから」が 50.0%で、女の 29.7%に比べて高くなっている。

また、男の「そのことについて思い出したくなかったから」が 25.0%で、女の 8.1%に比べて高くなっている。

女の「個人的なことなので、人に相談せず自分で解決しようと思ったから」が 48.6%で、男の 25.0%に比べて高くなっている。

また、女の「相談する人が近くにいなかったから」が 18.9%で、男の 0.0%に比べて高くなっている。

年齢別では、40歳未満の「相談するほどのことではないと思ったから」が 83.3%で、40歳～64歳の 26.2%に比べてかなり高くなっている。

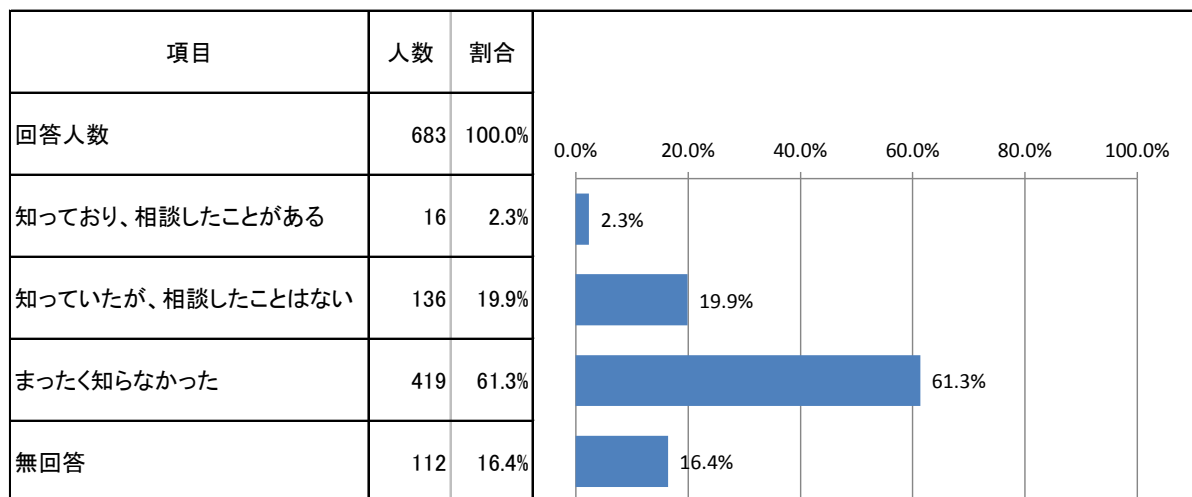
項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	49	-	12	-	37	-	6	-	42	-	1	-
どこ(だれ)に相談してよいか分からなかったから	3	6.1%	1	8.3%	2	5.4%	1	16.7%	2	4.8%	0	0.0%
相談する人が近くにいなかったから	7	14.3%	0	0.0%	7	18.9%	0	0.0%	7	16.7%	0	0.0%
恥ずかしくてだれにも言えなかったから	12	24.5%	3	25.0%	9	24.3%	2	33.3%	10	23.8%	0	0.0%
相談してもむだだと思ったから	17	34.7%	4	33.3%	13	35.1%	4	66.7%	13	31.0%	0	0.0%
相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから	5	10.2%	1	8.3%	4	10.8%	2	33.3%	3	7.1%	0	0.0%
相手に「誰にも言うな」とおどされたから	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
子どもに危害が及ぶと思ったから	2	4.1%	1	8.3%	1	2.7%	0	0.0%	2	4.8%	0	0.0%
自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	11	22.4%	3	25.0%	8	21.6%	4	66.7%	7	16.7%	0	0.0%
自分にも悪いところがあると思ったから	14	28.6%	4	33.3%	10	27.0%	4	66.7%	9	21.4%	1	100.0%
個人的なことなので、人に相談せず自分で解決しようと思ったから	21	42.9%	3	25.0%	18	48.6%	4	66.7%	16	38.1%	1	100.0%
担当者の言動により不快な思いをすと思ったから	1	2.0%	0	0.0%	1	2.7%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%
世間体が悪いから	5	10.2%	1	8.3%	4	10.8%	1	16.7%	4	9.5%	0	0.0%
他人(相談した相手)を巻き込みたくなかったから	6	12.2%	1	8.3%	5	13.5%	2	33.3%	4	9.5%	0	0.0%
※他人に知られると、これまでの付き合いができなくなると思ったから	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
相手の行為は愛情の表現だと思ったから	6	12.2%	1	8.3%	5	13.5%	1	16.7%	5	11.9%	0	0.0%
そのことについて思い出したくなかったから	6	12.2%	3	25.0%	3	8.1%	1	16.7%	5	11.9%	0	0.0%
相談するほどのことではないと思ったから	17	34.7%	6	50.0%	11	29.7%	5	83.3%	11	26.2%	1	100.0%
家族なのだからがまんするよう言われるのではないかと思ったから	3	6.1%	1	8.3%	2	5.4%	1	16.7%	2	4.8%	0	0.0%
相談することによって自分の望まない結果になるのではと思ったから(離婚・別居など)	1	2.0%	1	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.4%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	22	44.9%	3	25.0%	19	51.4%	0	0.0%	22	52.4%	0	0.0%

※他人(相談したいと思っている相手)に知られると、これまでの付き合い(仕事や学校などの人間関係)ができなくなると思ったから

問 25 DVについての具体的な相談先や鹿児島市等が発行しているDVに関するパンフレット等について、知っていますか。(A～Fの項目ごとにひとつに○)

A サンエールかごしま相談室

サンエールかごしま相談室の認知度については、「まったく知らなかった」が61.3%と最も多く、次いで「知っていたが、相談したことはない」が19.9%、「知っており、相談したことがある」が2.3%となっている。



【属性別特徴】

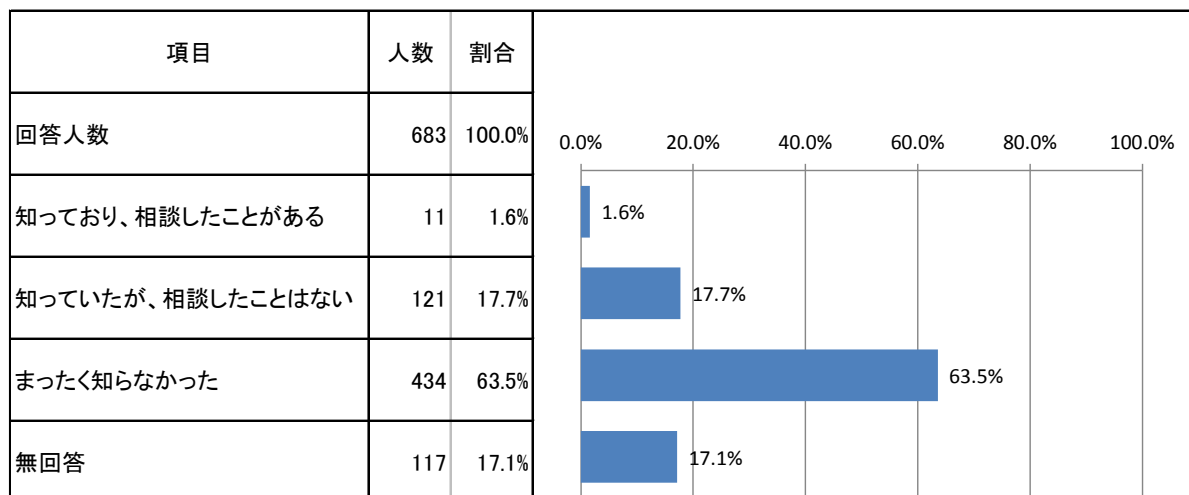
性別では、女の「知っていたが、相談したことはない」が22.6%で、男の16.2%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、40歳未満の「まったく知らなかった」が72.3%で、40歳～64歳の58.1%に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
知っており、相談したことがある	16	2.3%	3	1.1%	13	3.3%	4	2.8%	12	2.3%	0	0.0%
知っていたが、相談したことはない	136	19.9%	46	16.2%	90	22.6%	21	14.9%	113	21.4%	2	13.3%
まったく知らなかった	419	61.3%	178	62.7%	241	60.4%	102	72.3%	306	58.1%	11	73.3%
無回答	112	16.4%	57	20.1%	55	13.8%	14	9.9%	96	18.2%	2	13.3%

B 鹿児島市子どもと女性の相談室

鹿児島市子どもと女性の相談室の認知度については、「まったく知らなかった」が 63.5%と最も多く、次いで「知っていたが、相談したことはない」が 17.7%、「知っており、相談したことがある」が 1.6%となっている。



【属性別特徴】

性別では、女の「知っていたが、相談したことはない」が 21.6%で、男の 12.3%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、40歳未満の「まったく知らなかった」が 78.7%で、40歳～64歳の 59.2%に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
知っており、相談したことがある	11	1.6%	4	1.4%	7	1.8%	2	1.4%	9	1.7%	0	0.0%
知っていたが、相談したことはない	121	17.7%	35	12.3%	86	21.6%	15	10.6%	104	19.7%	2	13.3%
まったく知らなかった	434	63.5%	185	65.1%	249	62.4%	111	78.7%	312	59.2%	11	73.3%
無回答	117	17.1%	60	21.1%	57	14.3%	13	9.2%	102	19.4%	2	13.3%

C 鹿児島県女性相談センター

鹿児島県女性相談センターの認知度については、「まったく知らなかった」が61.8%と最も多く、次いで「知っていたが、相談したことはない」が19.9%、「知っており、相談したことがある」が1.6%となっている。

項目	人数	割合	0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%					
回答人数	683	100.0%						
知っており、相談したことがある	11	1.6%	1.6%					
知っていたが、相談したことはない	136	19.9%	19.9%					
まったく知らなかった	422	61.8%	61.8%					
無回答	114	16.7%	16.7%					

【属性別特徴】

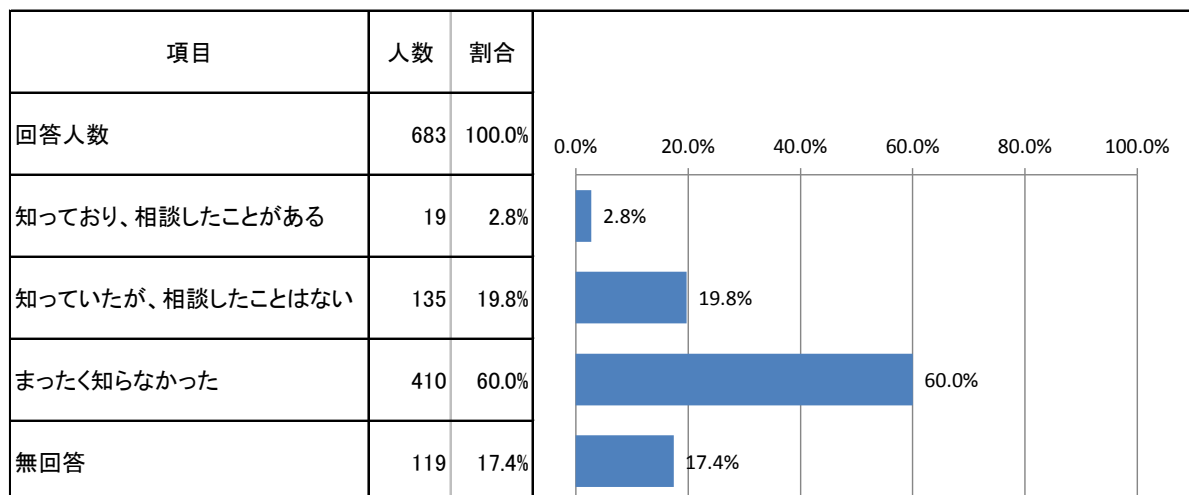
性別では、女の「知っていたが、相談したことはない」が24.1%で、男の14.1%に比べて高くなっている。

年齢別では、40歳未満の「まったく知らなかった」が72.3%で、40歳～64歳の58.8%に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
知っており、相談したことがある	11	1.6%	4	1.4%	7	1.8%	3	2.1%	8	1.5%	0	0.0%
知っていたが、相談したことはない	136	19.9%	40	14.1%	96	24.1%	23	16.3%	109	20.7%	4	26.7%
まったく知らなかった	422	61.8%	181	63.7%	241	60.4%	102	72.3%	310	58.8%	10	66.7%
無回答	114	16.7%	59	20.8%	55	13.8%	13	9.2%	100	19.0%	1	6.7%

D 鹿児島県男女共同参画センター

鹿児島県男女共同参画センターの認知度については、「まったく知らなかった」が60.0%と最も多く、次いで「知っていたが、相談したことはない」が19.8%、「知っており、相談したことがある」が2.8%となっている。



【属性別特徴】

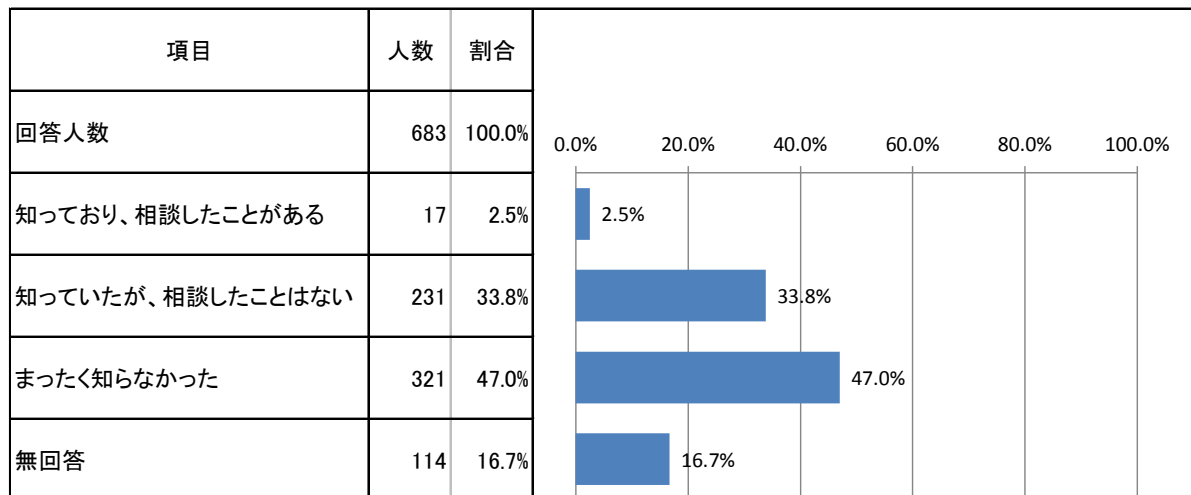
性別では、女の「知っていたが、相談したことはない」が23.3%で、男の14.8%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、40歳未満の「まったく知らなかった」が70.2%で、40歳～64歳の56.9%に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
知っており、相談したことがある	19	2.8%	4	1.4%	15	3.8%	6	4.3%	13	2.5%	0	0.0%
知っていたが、相談したことはない	135	19.8%	42	14.8%	93	23.3%	23	16.3%	110	20.9%	2	13.3%
まったく知らなかった	410	60.0%	178	62.7%	232	58.1%	99	70.2%	300	56.9%	11	73.3%
無回答	119	17.4%	60	21.1%	59	14.8%	13	9.2%	104	19.7%	2	13.3%

E 各警察署生活安全課

各警察署生活安全課の認知度については、「まったく知らなかった」が 47.0%と最も多く、次いで「知っていたが、相談したことはない」が 33.8%、「知っており、相談したことがある」が 2.5%となっている。



【属性別特徴】

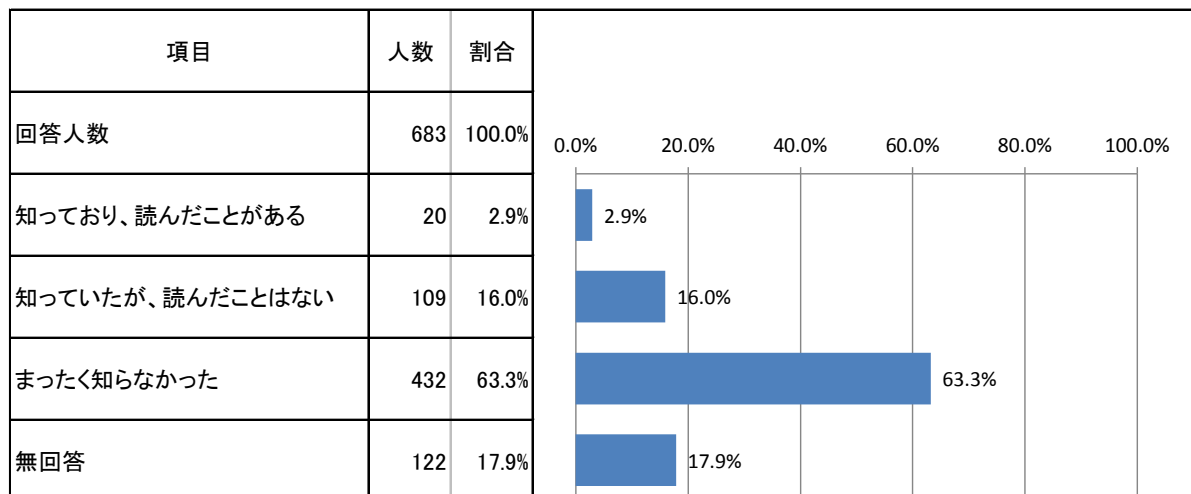
性別では、女の「まったく知らなかった」が 51.1%で、男の 41.2%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、40歳未満の「まったく知らなかった」が 58.2%で、40歳～64歳の 43.8%に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
知っており、相談したことがある	17	2.5%	8	2.8%	9	2.3%	4	2.8%	13	2.5%	0	0.0%
知っていたが、相談したことはない	231	33.8%	100	35.2%	131	32.8%	42	29.8%	185	35.1%	4	26.7%
まったく知らなかった	321	47.0%	117	41.2%	204	51.1%	82	58.2%	231	43.8%	8	53.3%
無回答	114	16.7%	59	20.8%	55	13.8%	13	9.2%	98	18.6%	3	20.0%

F 鹿児島市等が発行しているDVの相談先を紹介するカードサイズリーフレット等
※病院や金融機関、公共施設等に設置

鹿児島市等が発行しているDVの相談先を紹介するカードサイズリーフレット等の認知度については、「まったく知らなかった」が63.3%と最も多く、次いで「知っていたが、読んだことはない」が16.0%、「知っており、読んだことがある」が2.9%となっている。



【属性別特徴】

性別では、大きな差異はみられない。

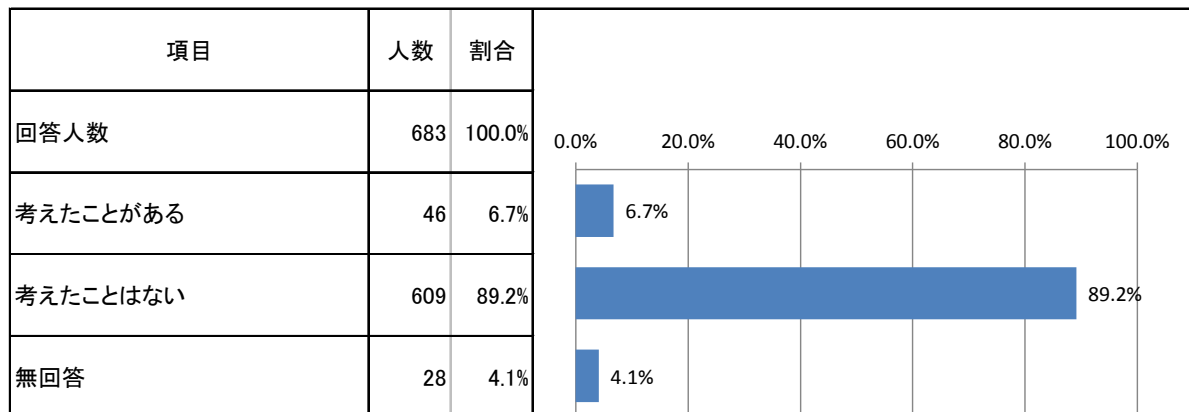
年齢別では、40歳未満の「まったく知らなかった」が68.1%で、40歳～64歳の61.7%に比べてやや高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
知っており、読んだことがある	20	2.9%	1	0.4%	19	4.8%	6	4.3%	13	2.5%	1	6.7%
知っていたが、読んだことはない	109	16.0%	41	14.4%	68	17.0%	26	18.4%	83	15.7%	0	0.0%
まったく知らなかった	432	63.3%	180	63.4%	252	63.2%	96	68.1%	325	61.7%	11	73.3%
無回答	122	17.9%	62	21.8%	60	15.0%	13	9.2%	106	20.1%	3	20.0%

【一般】

問 26 あなたは、この 1 年間で自殺したい(死にたい)と考えたことがありますか。
(ひとつに○)

自殺したいと考えたことがあるかについては、「考えたことがある」が 6.7%、「考えたことはない」が 89.2%となっている。



【属性別特徴】

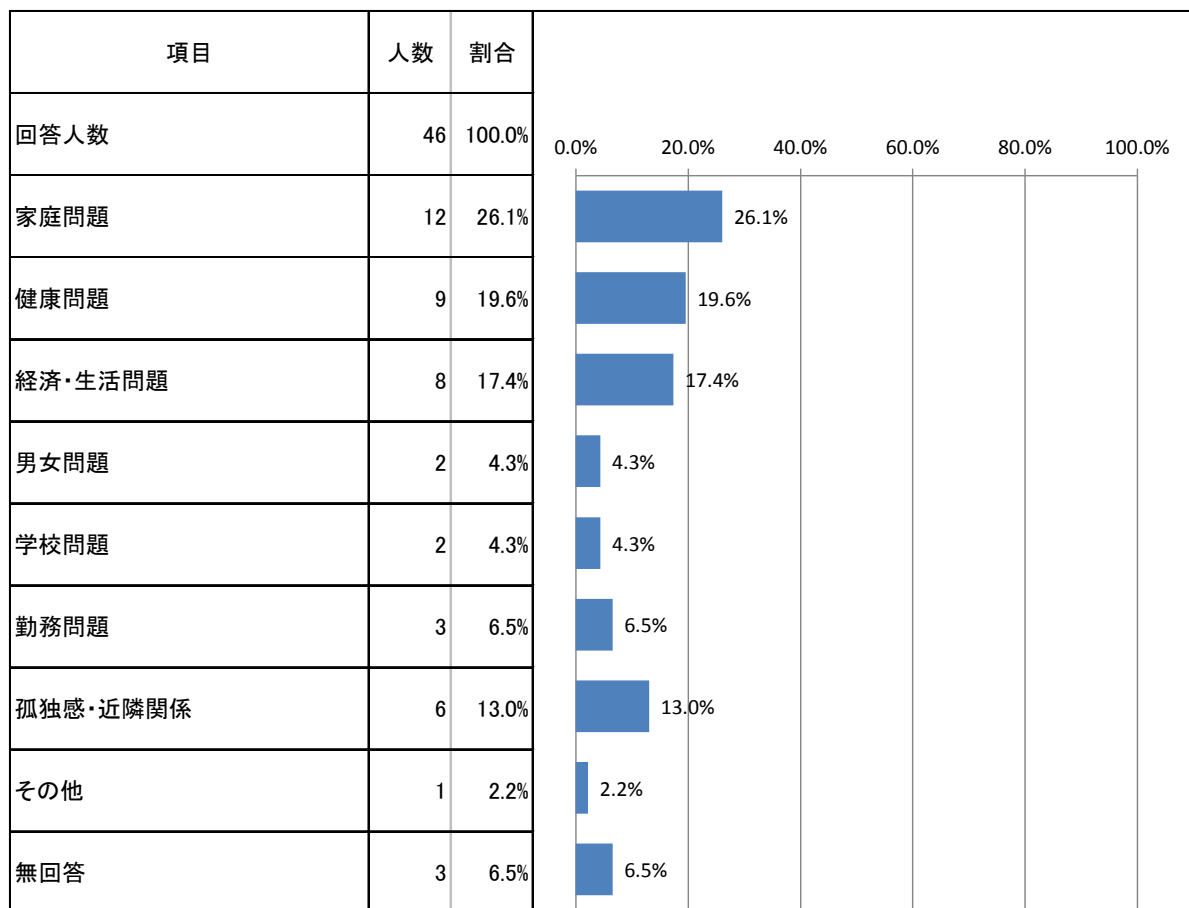
性別・年齢別では、大きな差異はみられない。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
考えたことがある	46	6.7%	12	4.2%	34	8.5%	14	9.9%	32	6.1%	0	0.0%
考えたことはない	609	89.2%	258	90.8%	351	88.0%	122	86.5%	472	89.6%	15	100.0%
無回答	28	4.1%	14	4.9%	14	3.5%	5	3.5%	23	4.4%	0	0.0%

※問 26 で『①考えたことがある』とご回答された方にお聞きします。

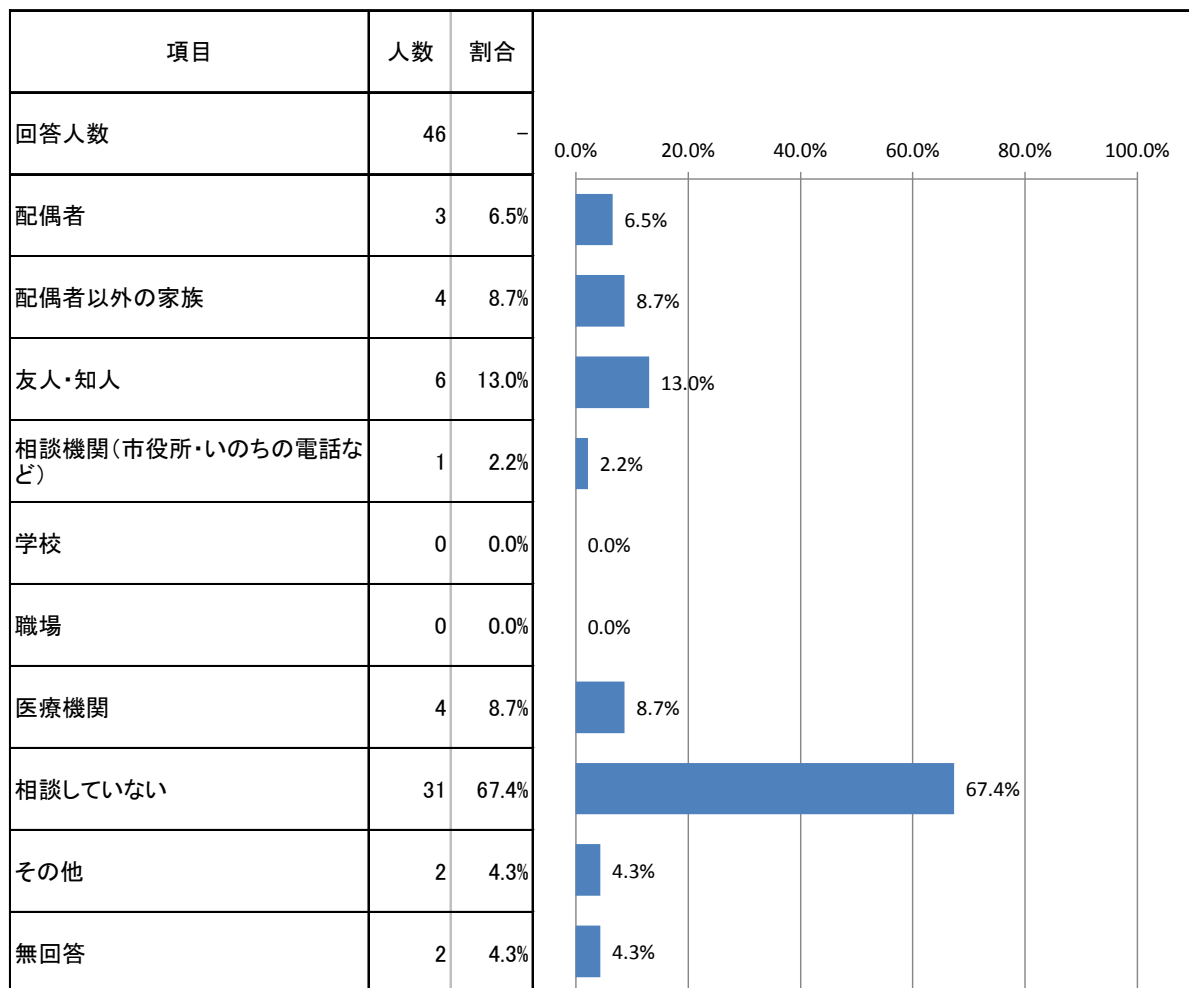
問 26-1 自殺を考えたときの一番の原因は何ですか。(ひとつに○)

自殺したいと考えたときの一番の原因については、「家庭問題」が 26.1%と最も多く、次いで「健康問題」が 19.6%、「経済・生活問題」が 17.4%となっている。



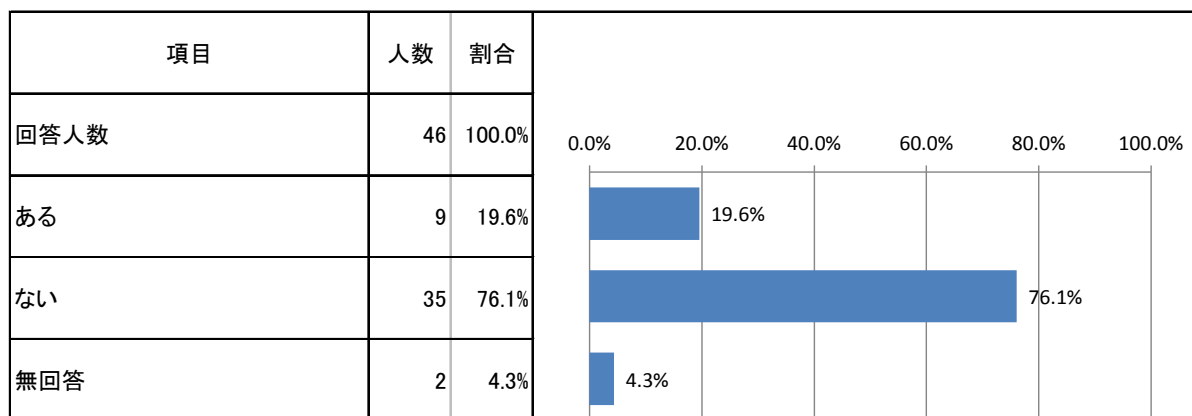
問 26-2 あなたは、自殺をしたいと思ったときにだれ（どこか）に相談しましたか。
（あてはまるものすべてに○）

自殺したいと考えたときの相談先については、「相談していない」が 67.4%と最も多く、次いで「友人・知人」が 13.0%、「配偶者以外の家族」、「医療関係」が 8.7%となっている。



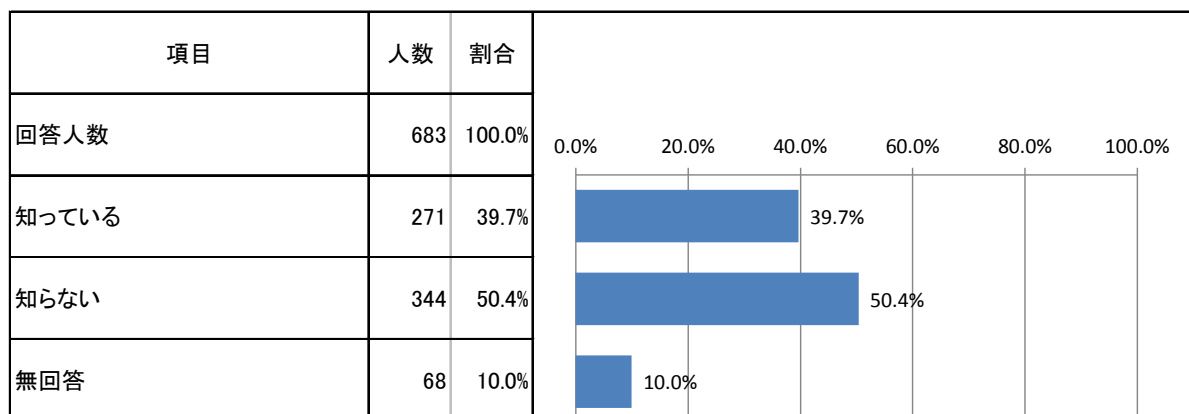
問 26-3 あなたは、自殺したいと思った原因による精神的苦痛などのため、医療機関を受診したことがありますか。(ひとつに○)

医療機関の受診については、「ある」が19.6%、「ない」が76.1%となっている。



問 27 自殺に関して相談ができるところを知っていますか。(ひとつに○)

自殺に関する相談先の認知度については、「知っている」が 39.7%、「知らない」が 50.4%となっている。



【属性別特徴】

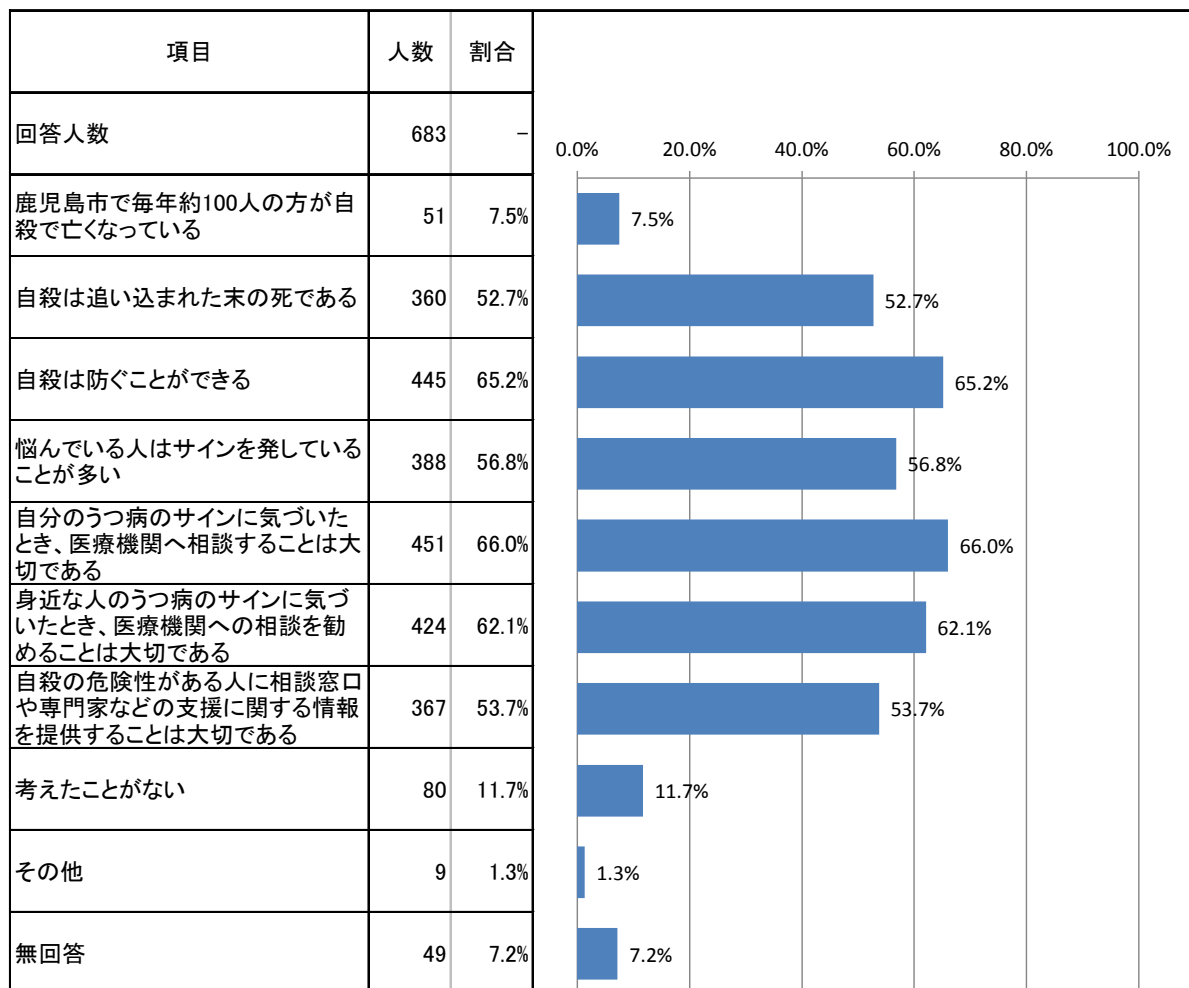
性別では、女の「知っている」が 43.6%で、男の 34.2%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、大きな差異はみられない。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
知っている	271	39.7%	97	34.2%	174	43.6%	59	41.8%	205	38.9%	7	46.7%
知らない	344	50.4%	157	55.3%	187	46.9%	74	52.5%	264	50.1%	6	40.0%
無回答	68	10.0%	30	10.6%	38	9.5%	8	5.7%	58	11.0%	2	13.3%

問 28 自殺について知っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

自殺について知っていることについては、「自分のうつ病のサインに気づいたとき、医療機関へ相談することは大切である」が 66.0%と最も多く、次いで「自殺は防ぐことができる」が 65.2%、「身近な人のうつ病のサインに気づいたとき、医療機関への相談を勧めることは大切である」が 62.1%となっている。



【属性別特徴】

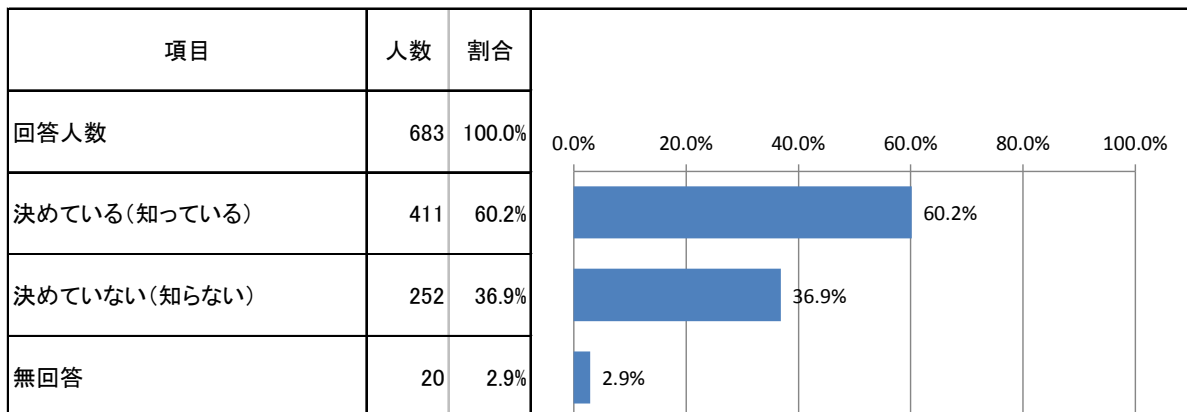
性別では、女の「自分のうつ病のサインに気づいたとき、医療機関へ相談することは大切である」が69.4%で、男の61.3%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、40歳未満の「自分のうつ病のサインに気づいたとき、医療機関へ相談することは大切である」が73.8%で、40歳～64歳の64.3%に比べてやや高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	-	284	-	399	-	141	-	527	-	15	-
鹿児島市で毎年約100の方が自殺で亡くなっている	51	7.5%	26	9.2%	25	6.3%	10	7.1%	40	7.6%	1	6.7%
自殺は追い込まれた末の死である	360	52.7%	152	53.5%	208	52.1%	70	49.6%	283	53.7%	7	46.7%
自殺は防ぐことができる	445	65.2%	187	65.8%	258	64.7%	93	66.0%	343	65.1%	9	60.0%
悩んでいる人はサインを発していることが多い	388	56.8%	151	53.2%	237	59.4%	85	60.3%	294	55.8%	9	60.0%
自分のうつ病のサインに気づいたとき、医療機関へ相談することは大切である	451	66.0%	174	61.3%	277	69.4%	104	73.8%	339	64.3%	8	53.3%
身近な人のうつ病のサインに気づいたとき、医療機関への相談を勧めることは大切である	424	62.1%	169	59.5%	255	63.9%	86	61.0%	331	62.8%	7	46.7%
自殺の危険性がある人に相談窓口や専門家などの支援に関する情報を提供することは大切である	367	53.7%	141	49.6%	226	56.6%	73	51.8%	289	54.8%	5	33.3%
考えたことがない	80	11.7%	38	13.4%	42	10.5%	16	11.3%	63	12.0%	1	6.7%
その他	9	1.3%	0	0.0%	9	2.3%	3	2.1%	6	1.1%	0	0.0%
無回答	49	7.2%	22	7.7%	27	6.8%	5	3.5%	40	7.6%	4	26.7%

問 29 避難する場所を決めていますか。(または自宅に一番近い指定避難所を知っていますか。)(ひとつに○)

自宅に一番近い指定避難所の把握については、「決めている(知っている)」が60.2%、「決めていない(知らない)」が36.9%となっている。



【属性別特徴】

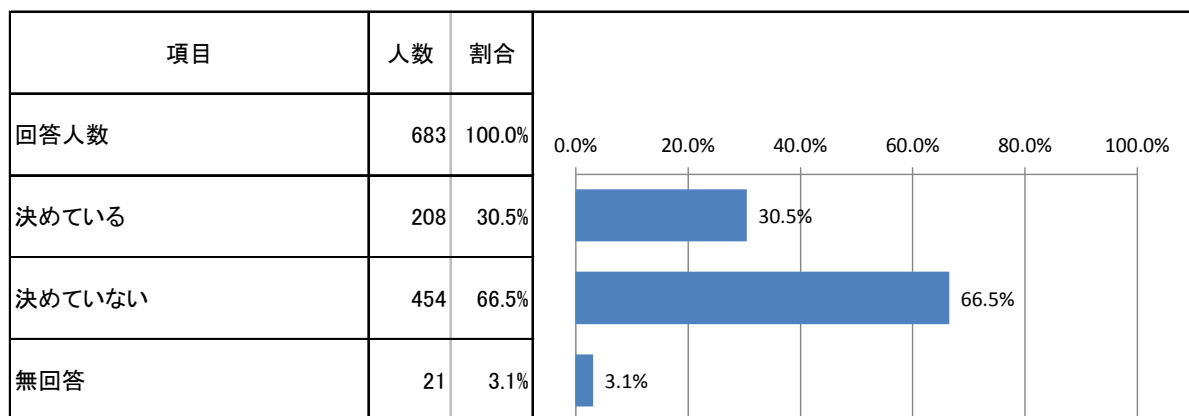
性別では、大きな差異はみられない。

年齢別では、40歳～64歳の「決めている(知っている)」が62.0%で、40歳未満の53.9%に比べてやや高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
決めている(知っている)	411	60.2%	173	60.9%	238	59.6%	76	53.9%	327	62.0%	8	53.3%
決めていない(知らない)	252	36.9%	101	35.6%	151	37.8%	61	43.3%	184	34.9%	7	46.7%
無回答	20	2.9%	10	3.5%	10	2.5%	4	2.8%	16	3.0%	0	0.0%

問30 災害が発生したとき、家族と連絡をとる方法を決めていますか。(ひとつに○)

災害発生時の家族との連絡方法に関する話し合いについては、「決めている」が30.5%、「決めていない」が66.5%となっている。



【属性別特徴】

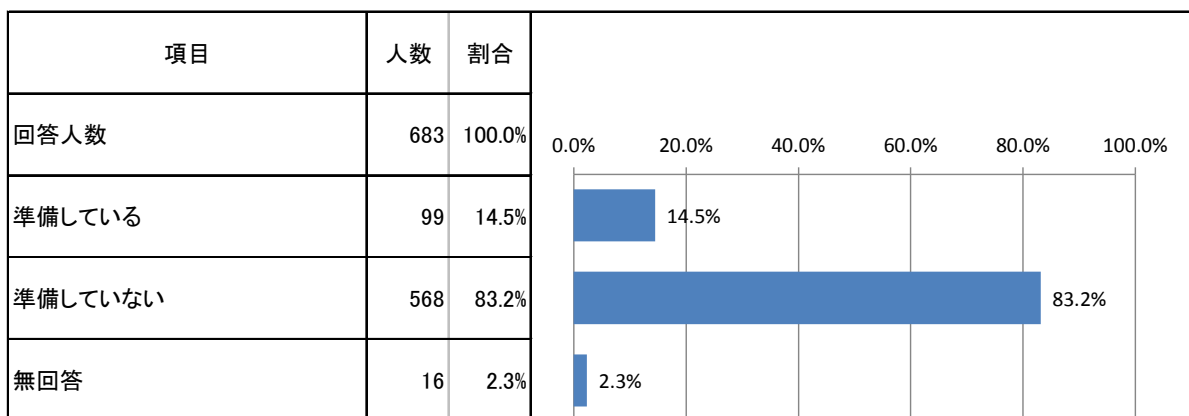
性別では、大きな差異はみられない。

年齢別では、40歳～64歳の「決めている」が32.3%で、40歳未満の23.4%に比べてやや高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
決めている	208	30.5%	82	28.9%	126	31.6%	33	23.4%	170	32.3%	5	33.3%
決めていない	454	66.5%	191	67.3%	263	65.9%	104	73.8%	340	64.5%	10	66.7%
無回答	21	3.1%	11	3.9%	10	2.5%	4	2.8%	17	3.2%	0	0.0%

問 31 災害時の非常持ち出し品を準備していますか。(ひとつに○)

非常持ち出し品の準備については、「準備している」が 14.5%、「準備していない」が 83.2%となっている。



【属性別特徴】

性別では、大きな差異はみられない。

年齢別では、40歳～64歳の「準備している」が 15.9%で、40歳未満の 9.2%に比べてやや高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
準備している	99	14.5%	34	12.0%	65	16.3%	13	9.2%	84	15.9%	2	13.3%
準備していない	568	83.2%	242	85.2%	326	81.7%	125	88.7%	430	81.6%	13	86.7%
無回答	16	2.3%	8	2.8%	8	2.0%	3	2.1%	13	2.5%	0	0.0%

問 32 災害時要援護者避難支援制度を知っていますか。(ひとつに〇)

災害時要援護者避難支援制度の認知度については、「知っている」が 18.4%、「知らない」が 78.6%となっている。

項目	人数	割合	0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%					
回答人数	683	100.0%						
知っている	126	18.4%	18.4%					
知らない	537	78.6%	78.6%					
無回答	20	2.9%	2.9%					

【属性別特徴】

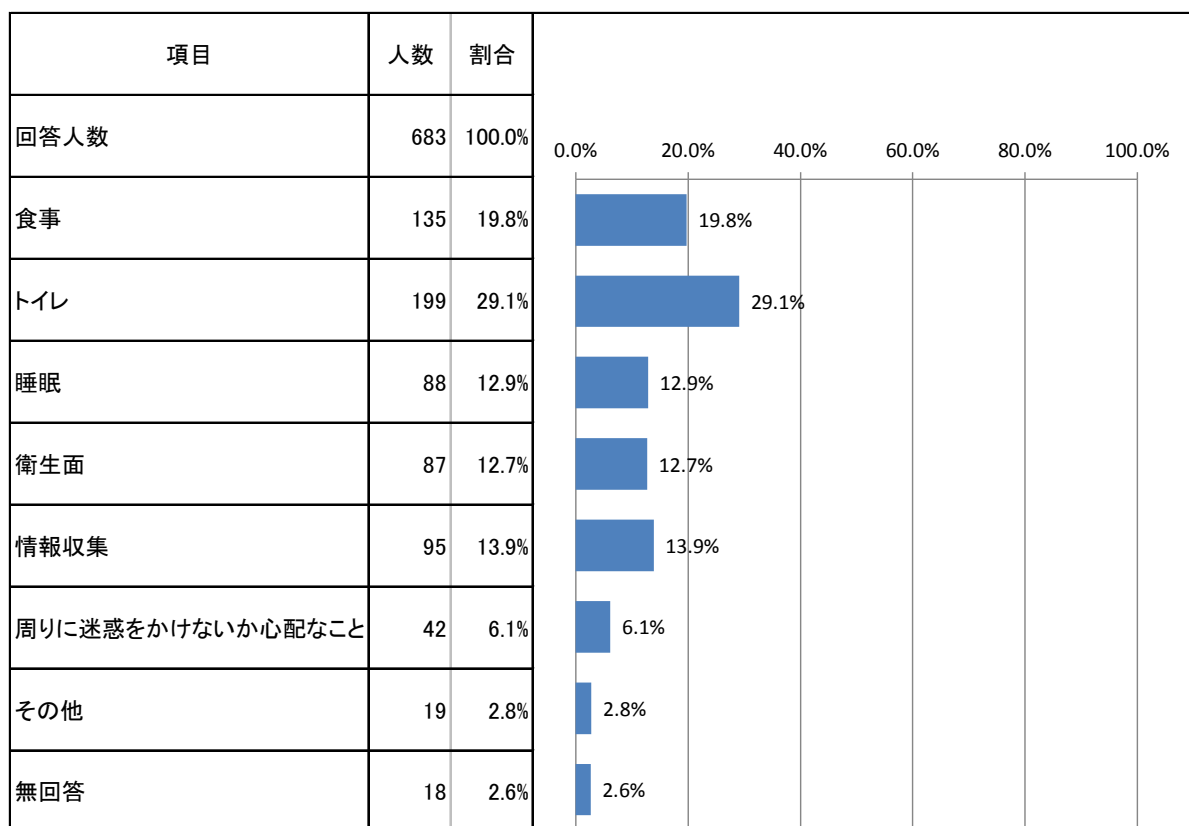
性別では、大きな差異はみられない。

年齢別では、40歳～64歳の「知っている」が 20.1%で、40歳未満の 11.3%に比べてやや高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
知っている	126	18.4%	55	19.4%	71	17.8%	16	11.3%	106	20.1%	4	26.7%
知らない	537	78.6%	221	77.8%	316	79.2%	120	85.1%	406	77.0%	11	73.3%
無回答	20	2.9%	8	2.8%	12	3.0%	5	3.5%	15	2.8%	0	0.0%

問 33 避難所に避難した場合に、一番不安なのは次のうちどれですか。(ひとつに○)

避難所に避難した場合に一番不安なことについては、「トイレ」が 29.1%と最も多く、次いで「食事」が 19.8%、「情報収集」が 13.9%となっている。



【属性別特徴】

性別では、女の「トイレ」が35.3%で、男の20.4%に比べて高くなっている。

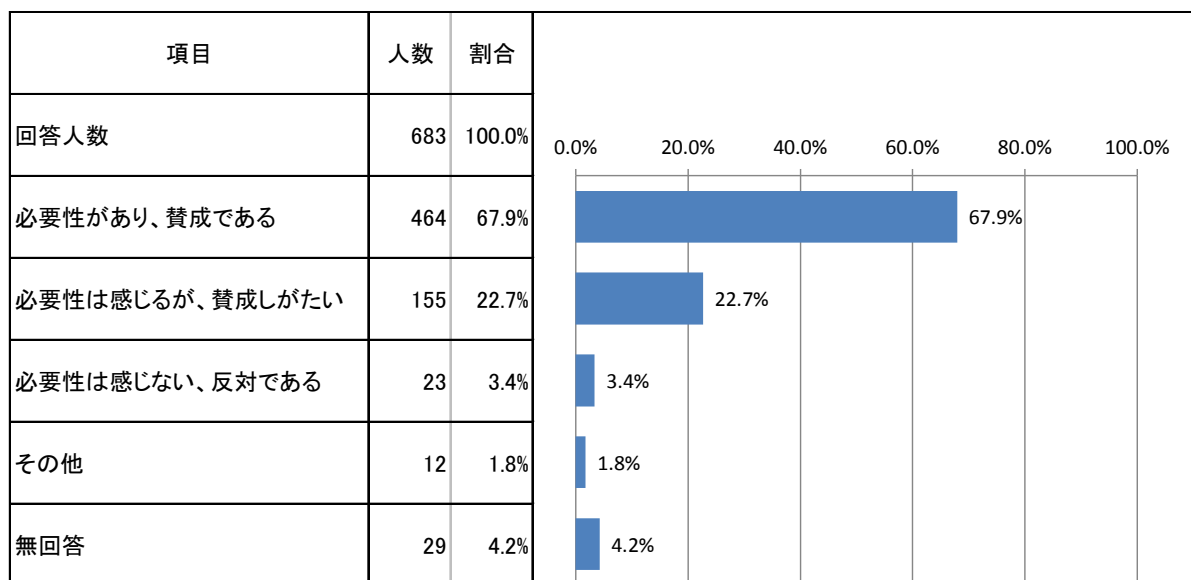
年齢別では、40歳未満の「食事」が34.0%で、40歳～64歳の16.3%に比べて高くなっている。

また、40歳～64歳の「トイレ」が31.3%で、40歳未満の20.6%に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
食事	135	19.8%	70	24.6%	65	16.3%	48	34.0%	86	16.3%	1	6.7%
トイレ	199	29.1%	58	20.4%	141	35.3%	29	20.6%	165	31.3%	5	33.3%
睡眠	88	12.9%	41	14.4%	47	11.8%	5	3.5%	78	14.8%	5	33.3%
衛生面	87	12.7%	34	12.0%	53	13.3%	24	17.0%	60	11.4%	3	20.0%
情報収集	95	13.9%	42	14.8%	53	13.3%	19	13.5%	76	14.4%	0	0.0%
周りに迷惑をかけないか心配なこと	42	6.1%	21	7.4%	21	5.3%	5	3.5%	37	7.0%	0	0.0%
その他	19	2.8%	8	2.8%	11	2.8%	7	5.0%	11	2.1%	1	6.7%
無回答	18	2.6%	10	3.5%	8	2.0%	4	2.8%	14	2.7%	0	0.0%

問 34 災害時に避難した人と避難しなかった人の把握のため、家族情報（家族の人数、氏名、年齢など）を事前に町内会などで把握しておく必要性を感じますか。またそうすることに賛成ですか。（ひとつに○）

町内会において事前に家族情報を把握する必要性とその賛否については、「必要性があり、賛成である」が 67.9%と最も多く、次いで「必要性を感じるが、賛成しがたい」が 22.7%、「必要性を感じない、反対である」が 3.4%となっている。



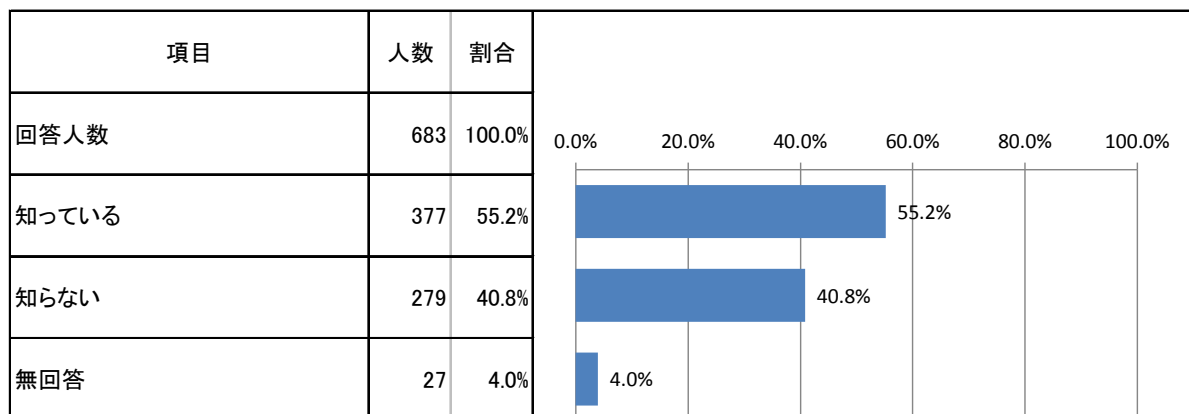
【属性別特徴】

性別・年齢別では、大きな差異はみられない。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
必要性があり、賛成である	464	67.9%	187	65.8%	277	69.4%	93	66.0%	362	68.7%	9	60.0%
必要性を感じるが、賛成しがたい	155	22.7%	61	21.5%	94	23.6%	37	26.2%	114	21.6%	4	26.7%
必要性を感じない、反対である	23	3.4%	12	4.2%	11	2.8%	1	0.7%	22	4.2%	0	0.0%
その他	12	1.8%	8	2.8%	4	1.0%	3	2.1%	8	1.5%	1	6.7%
無回答	29	4.2%	16	5.6%	13	3.3%	7	5.0%	21	4.0%	1	6.7%

問 35 桜島の火山活動では、大正噴火時に失われたマグマの約9割が蓄積されており、2020年代には、その蓄積が大正噴火直前の状態とほぼ同じになり、大正噴火級の大噴火が起こる可能性が示唆されていることをご存じですか。
(ひとつに○)

大正噴火級の大噴火が起こる可能性の認知度については、「知っている」が55.2%、「知らない」が40.8%となっている。



【属性別特徴】

性別では、大きな差異はみられない。

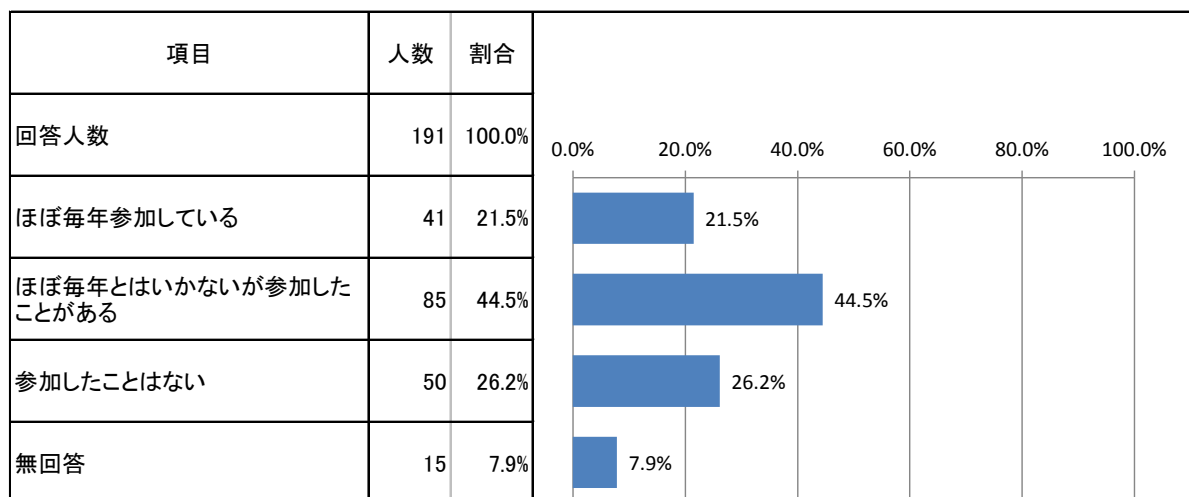
年齢別では、40歳～64歳の「知っている」が57.1%で、40歳未満の46.1%に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	683	100.0%	284	100.0%	399	100.0%	141	100.0%	527	100.0%	15	100.0%
知っている	377	55.2%	161	56.7%	216	54.1%	65	46.1%	301	57.1%	11	73.3%
知らない	279	40.8%	109	38.4%	170	42.6%	71	50.4%	204	38.7%	4	26.7%
無回答	27	4.0%	14	4.9%	13	3.3%	5	3.5%	22	4.2%	0	0.0%

※問 36 から問 39 は桜島にお住まいの方への質問です。

**問 36 鹿児島市が開催する桜島火山爆発総合防災訓練に参加したことがありますか。
(ひとつに○)**

桜島火山爆発総合防災訓練の参加については、「ほぼ毎年とはいかないが参加したことがある」が 44.5%と最も多く、次いで「参加したことはない」が 26.2%、「ほぼ毎年参加している」が 21.5%となっている。



【属性別特徴】

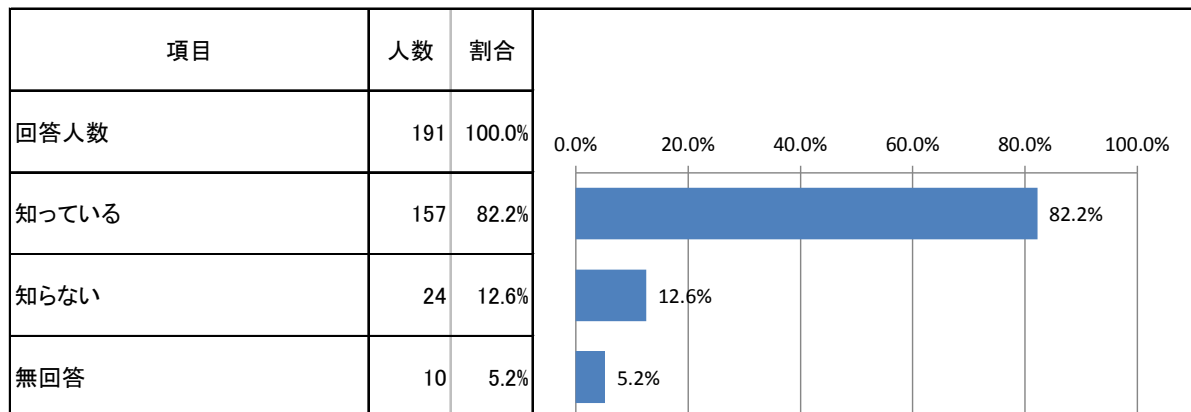
性別では、女の「ほぼ毎年とはいかないが参加したことがある」が 49.6%で、男の 37.2%に比べて高くなっている。

年齢別では、40歳未満の「ほぼ毎年とはいかないが参加したことがある」が 51.4%で、40歳～64歳の 43.0%に比べてやや高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	191	100.0%	78	100.0%	113	100.0%	37	100.0%	149	100.0%	5	100.0%
ほぼ毎年参加している	41	21.5%	19	24.4%	22	19.5%	8	21.6%	32	21.5%	1	20.0%
ほぼ毎年とはいかないが参加したことがある	85	44.5%	29	37.2%	56	49.6%	19	51.4%	64	43.0%	2	40.0%
参加したことはない	50	26.2%	22	28.2%	28	24.8%	9	24.3%	39	26.2%	2	40.0%
無回答	15	7.9%	8	10.3%	7	6.2%	1	2.7%	14	9.4%	0	0.0%

問 37 現在、避難時に家族カードを提出することで、避難した方を把握することになっていますが、家族カードを提出することを知っていますか。(ひとつに○)

噴火の避難時における家族カード提出の認知度については、「知っている」が 82.2%、「知らない」が 12.6%となっている。



【属性別特徴】

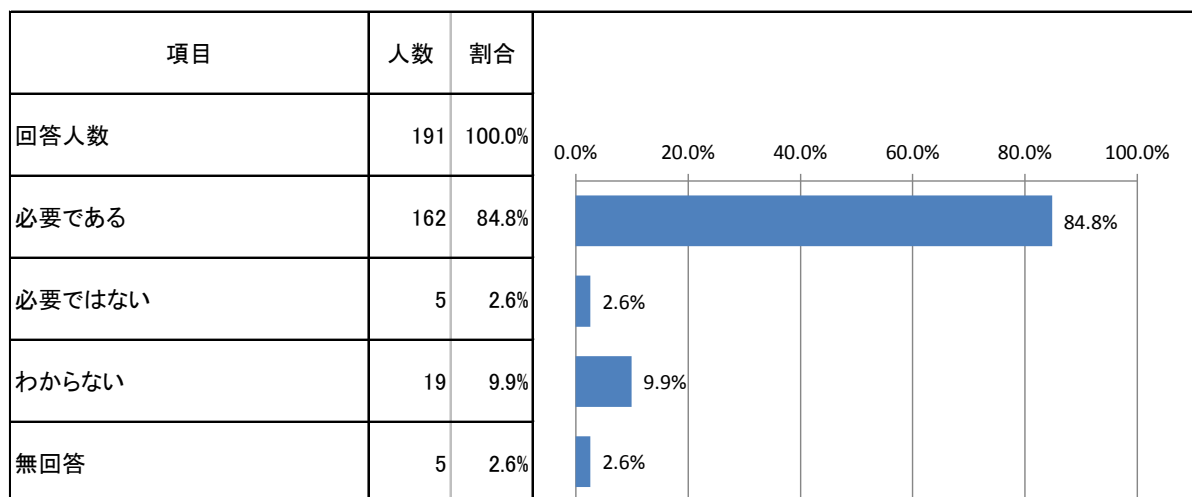
性別では、女の「知っている」が 86.7%で、男の 75.6%に比べて高くなっている。

年齢別では、40歳～64歳の「知っている」が 85.2%で、40歳未満の 70.3%に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	191	100.0%	78	100.0%	113	100.0%	37	100.0%	149	100.0%	5	100.0%
知っている	157	82.2%	59	75.6%	98	86.7%	26	70.3%	127	85.2%	4	80.0%
知らない	24	12.6%	15	19.2%	9	8.0%	10	27.0%	13	8.7%	1	20.0%
無回答	10	5.2%	4	5.1%	6	5.3%	1	2.7%	9	6.0%	0	0.0%

問 38 現在、避難しなかった人（避難時に島外にいる人や逃げ遅れた人など）を町内会や行政で確認する仕組みはありません。把握できるようにしておくことが必要だと考えますか。（ひとつに○）

避難しなかった人を確認する仕組みの必要性については、「必要である」が 84.8%と最も多く、次いで「わからない」が 9.9%、「必要ではない」が 2.6%となっている。



【属性別特徴】

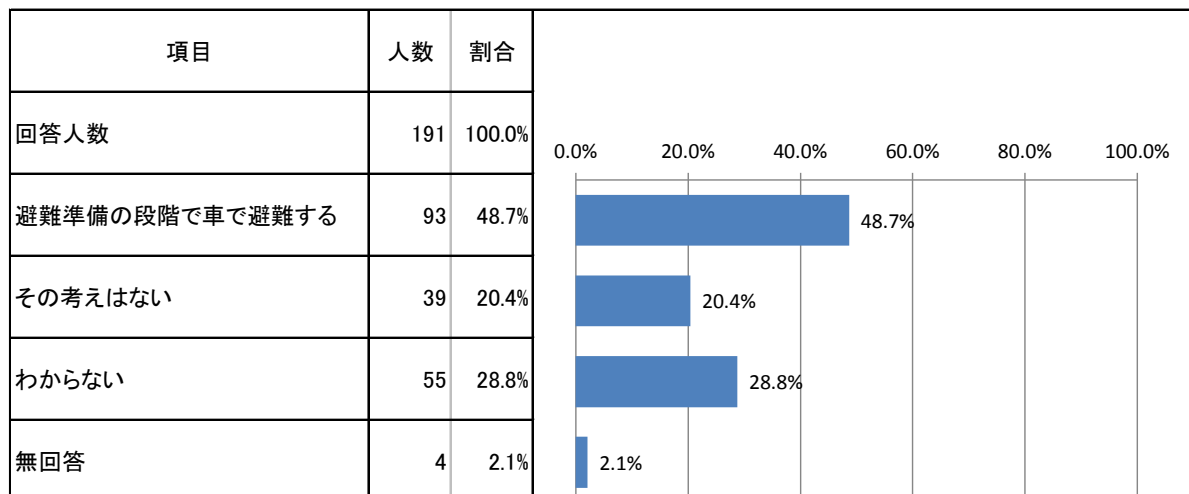
性別では、男の「必要である」が 91.0%で、女の 80.5%に比べて高くなっている。

年齢別では、40歳未満の「必要である」が 89.2%で、40歳～64歳の 83.9%に比べてやや高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	191	100.0%	78	100.0%	113	100.0%	37	100.0%	149	100.0%	5	100.0%
必要である	162	84.8%	71	91.0%	91	80.5%	33	89.2%	125	83.9%	4	80.0%
必要ではない	5	2.6%	2	2.6%	3	2.7%	0	0.0%	5	3.4%	0	0.0%
わからない	19	9.9%	4	5.1%	15	13.3%	4	10.8%	14	9.4%	1	20.0%
無回答	5	2.6%	1	1.3%	4	3.5%	0	0.0%	5	3.4%	0	0.0%

問 39 「避難勧告」が発令されたら、車は使わず船で避難することになりますが、その前の「避難準備」が発令された段階で、車などで島外に避難する考えがありますか。(ひとつに○)

「避難準備」発令時の車などでの島外避難については、「避難準備の段階で車で避難する」が 48.7%と最も多く、次いで「わからない」が 28.8%、「その考えはない」が 20.4%となっている。



【属性別特徴】

性別では、男の「避難準備の段階で車で避難する」が 52.6%で、女の 46.0%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、40歳未満の「避難準備の段階で車で避難する」が 62.2%で、40歳～64歳の 46.3%に比べて高くなっている。

項目	回答人数		性別				年齢別					
			男		女		40歳未満		40歳～64歳		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答人数	191	100.0%	78	100.0%	113	100.0%	37	100.0%	149	100.0%	5	100.0%
避難準備の段階で車で避難する	93	48.7%	41	52.6%	52	46.0%	23	62.2%	69	46.3%	1	20.0%
その考えはない	39	20.4%	14	17.9%	25	22.1%	6	16.2%	32	21.5%	1	20.0%
わからない	55	28.8%	22	28.2%	33	29.2%	8	21.6%	44	29.5%	3	60.0%
無回答	4	2.1%	1	1.3%	3	2.7%	0	0.0%	4	2.7%	0	0.0%